令和7年度　文部科学省委託事業

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
（人口減少地域の職業人材を確保するための
専修学校振興プログラム）
[人口減少地域の職業人材を確保するための
専修学校の教育モデル開発]

委託事業全体成果報告書
成果物
「企業・団体へのアンケート調査」

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、≪学校法人イデア熊本アジア学園イデアITカレッジ阿蘇≫が実施した令和7年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の成果をとりまとめたものです。

学校法人イデア熊本アジア学園
イデアITカレッジ阿蘇

地方創生×IT･AI活用人材育成
「企業･団体へのアンケート調査」

①企業・団体へのアンケート調査

・ターゲット３分野の事業者の本教育への理解度、学生の採用に対して、企業ニーズの実態を把握する。外国人材の採用意向も把握する。

●IT分野、宿泊分野、外国人材採用の熊本県内の事業者対象者の抽出

●アンケート設計、団体等依頼、実施

以下団体・行政にアンケート調査依頼を実施

・九州運輸局

・熊本県旅館ホテル生活衛生同業組合

・一般社団法人 熊本県情報サービス産業協会

・熊本県 デジタル戦略推進課

・南阿蘇ITバレー協議会

その他、ターゲット業種の個別に企業や観光振興団体へ案内

・IT企業：16社

・DMO/地域団体：12社

・宿泊事業者：18社

・その他教育機関：1社

案内期間：11月～12月1日

アンケート回収数

・IT事業者：21件

・DMO/観光振興団体：19件

・宿泊事業者：13件

尚、本アンケート含め、追加分析としてR4年度実施のDX人材育成に関するアンケート結果160件を含んだ比較分析を実施。

対象：観光コンテンツ事業者（宿泊事業者）94件、エリアマネジメント事業者（DMO・観光振興団体）34件、観光系ITベンダー（IT企業）分野32件

また、企業ヒアリング内容（5社分）のニーズ分析を実施。

①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート設計、団体等依頼、実施

アンケート設計は、R4年度実施のDX人材育成アンケートと比較できるように調整。

▼IT企業向けアンケート



情報サービス産業における AI・IT導入と活用の中核人材調査のお願い

この度、**令和7年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」**におきまして、地域産業とその完実に重要な情報サービス業界にAI・IT活用中核人材ニーズに関する調査を実施いたします。
地場産業では、現場のAI・IT活用の理解・導入不足、IT業界との連携不足が挙げられます。本事業では、専門学校で情報サービス業界の事業者のAI・IT人材の育成・輩出を目指しております。
本調査では、情報サービス業界の各事業者のAI・IT活用の中核人材ニーズについてアンケート調査を行います。調査結果の分析等は、各業界さまを通して、告知させていただきます。
お忙しいところ恐れ入りますが、よろしくお願いします。12月1日(月)までに回答をお願いします。

令和 7年11月吉日
調査主体者：学校法人イデア熊本アジア学園
専門学校イデアITカレッジ阿蘇
校長　井手　修身

メールアドレス *
有効なメールアドレス
このフォームではメールアドレスが収集されます。 設定を変更

Q1 貴社・団体情報
基本情報をご回答ください。

貴社・団体名 *
長文回答

貴社・団体所在地（都道府県名） *
長文回答

主たる職種 *
※複数選択可
- ① ビジネス構築／コンサル／ベンチャー
- ② システム開発／SE
- ③ 製造／ブリッジSE
- ④ アーキテクチャ／ネットワーク構築
- ⑤ Web／フロントエンド／デザイン
- ⑥ 検証／セキュリティ
- ⑦ サーバ／システム／クラウド運用
- ⑧ コールセンター／現地サポート
- その他:

契約タイプ *
※複数選択可
- ①コンサル（請負/SES）
- ②請負開発
- ③常駐開発（派遣/SES）
- ④保守
- その他:

従業者数（2025 年10月 1 日現在） *
※臨時雇用者、他からの派遣、出向を含む。
短文回答

人材ニーズ について
御社における 人材ニーズ についてお尋ねします。
各項目で該当するものをお答えください。

Q2 求められる人材の職種 *



	規模縮小したい	現状維持	規模拡大したい
①開発エンジニア（要...			
②開発エンジニア（算...			
③Webデザイナー・フ...			
④保守エンジニア（ネ...			
⑤クラウドエンジニア...			
⑥フィールドエンジニ...			
⑦データエンジニア（lo...			
⑧データサイエンティ...			
⑨データビジネスデザ...			
⑩セキュリティエンジ...			
⑪DXビジネス企画（ソ...			
⑫ AIエンジニア／AIア...			

Q3 上記業種以外で該当する業種があればお答えください。
例）業種名●●●：規模拡大したい
長文回答

Q4 採用時に求める能力・性格・スキル *

	○大変重視する	△ある程度重視する	×重視しない
[対課題]情報収集、分析力			
[対課題]企画発想、計画力			
[対課題]業務遂行力			
[対課題]判断力			
[スキル]プログラミング...			
[スキル]セキュリティ知識			
[スキル]テスト・開発プ...			
[スキル]ネットワーク知識			
[スキル]ビッグデータ収...			
[スキル]統計・数学知識			
[スキル]デジタルマーケ...			
[スキル]ドローン利活用...			
[スキル]［初級レベル］...			
[スキル]［中級レベル］...			

Q5 AI活用の目的・分野
説明（省略可）

（1）自社業務でのAI利活用についてお聞かせください。 *

	導入している	今後導入したい	導入の予定はない
①開発業務の効率化（...			
②ドキュメント作成・...			
③画像生成やデザイン...			
④データ分析・マーケ...			
⑤顧客対応（AIチャッ...			
⑥社内教育・研修での...			

（2）AIを活用したクライアント提供・地域貢献の取り組みについてお聞かせください。 *

	導入している	今後導入したい	導入の予定はない
①クライアント向けのA...			

①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート設計、団体等依頼、実施

アンケート設計は、R4年度実施のDX人材育成アンケートと比較できるように調整。

▼IT企業向けアンケート



② 地域課題解決・地域...
③ 他産業（医療・教育...

Q6 AIIT利活用人材育成について

現在、専門学校イデアITカレッジ阿蘇では、AI・ITの基礎知識を学んだプログラマ、SE、セキュリティ、データエンジニア人材を育成し、2026年3月には卒業予定です。
各項目で該当するものをお答えください。
■イデアITカレッジ阿蘇　https://ica.jp/

（1）既存従業員へのAI・IT利活用の人材育成について *
- 既に導入している
- 今後導入してみたい
- 導入の予定はない

（2）AI・IT利活用人材の新規採用意欲 *

	具体的に採用したい	今後検討していきたい	当面予定なし
①専門学校の新卒社員...			
②アルバイト・パート...			
③インターンシップ生...			
④専門学校卒業後の経...			

Q7 外国人留学生（技人国）の雇用実績 *

御社の現在、外国人の雇用についてお尋ねします。
各項目で該当するものをお答えください。
- 現在雇用している
- 過去に雇用したことがある
- 今後雇用したい
- 雇用実績はない

Q8 外国人留学生（技人国）の採用意向 *

御社の現在、外国人の採用についてお尋ねします。
各項目で該当するものをお答えください。
- 積極的に採用したい
- 条件が合えば採用したい
- 今後検討したい
- 現時点では予定なし

Q9 リスキリングに関するニーズ *

	すでに実施している	今後実施したい	関心はあるが予定...	必要性を感じない
①職員・従業員向...				
②経営層向けのリ...				
③外部講師や教育...				
④専門学校・大学...				
⑤自主学習支援（...				

Q10 リスキリング・リカレントの費用負担

説明（省略可）

（1）会社主導でのリスキリング・研修・セミナーなどについて教えてください。 *
- 会社負担
- 行政等が主催で無料
- 個人負担で会社が一部助成
- 特に会社主導のリスキリングは実施していない

（2）従業員の自主的なリカレント・研修・セミナー参加などについて教えてください。 *
- 会社負担
- 個人負担で会社が一部助成
- 会社負担は無し

Q11 観光業界との関わりについて

説明（省略可）

（1）観光業界との関わりについて現状やお考えを教えてください。 *
- 現在、地域活性や地域課題解決へのIT支援ビジネスを行っている
- 参入する可能性がある
- 参入する可能性は低い

（2）観光業界との関わりについて今後の展望やお考えを教えてください。 *
- 参入済み・規模縮小したい
- 参入済み・現状維持
- 参入済み・規模拡大したい
- 新規参入したい
- 未参入で、特に興味がない

Q12 Q6(1)既存従業員へのAI・IT利活用の人材育成を**「今後、導入してみたい」**、質問（2）で、AI・IT利活用人材の新規採用について、**「具体的に採用したい」、「今後、検討していきたい」**と回答した方には、事務局から改めて連絡等をさせていただきます。下記の連絡先をご記入ください。

※該当しない方は、**「該当しない」**と記載ください。

説明（省略可）

担当者氏名

長文回答

メールアドレス

長文回答

電話番号※半角数字、ハイフン有で記載してください。

長文回答

Q13 本アンケート調査に関することでご意見、質問等ありましたらご記入ください。

長文回答

■本調査に関するお問合せ

【調査主体者】
学校法人イデア熊本アジア学園　専門学校イデアITカレッジ阿蘇
担当：廣瀬　hirose@ica.jp

アンケート調査にご協力頂きまして、誠にありがとうございました。
下部の「送信」を押すと、アンケート終了となります。
調査の情報につきましては、学校法人イデア熊本アジア学園が責任をもって管理いたします。

①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート設計、団体等依頼、実施

アンケート設計は、R4年度実施のDX人材育成アンケートと比較できるように調整。

▼DMO/観光振興団体向けアンケート



DMO・観光振興団体のAI・IT導入と活用の中核人材調査のお願い

この度、 令和7年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」 におきまして、観光業のAI・IT活用中核人材ニーズに関する調査を実施いたします。
DMO・観光振興団体（観光連盟・協会、旅館組合等）は、観光地域づくり推進、旅行者への観光情報の提供、また観光事業者を支援する重要な役割をになっています。その一方で、限られた予算で業務を遂行する「業務の効率化」や、外国人・国内旅行者の多様なニーズに応えていく「情報のデジタル化」は大きな課題であり、その解決策の１つとして、AI・ITの利活用が重要であるといえます。また、DMO・観光振興団体では、慢性的な人材不足が大きな課題であり、その中でもAI・Tを利活用できる人材不足もあると考えられます。

本調査では、DMO・観光振興団体のIT導入の現状を把握すると共に、人材の中で特に、AI・IT利活用の中核人材ニーズについてアンケート調査をさせていただきます。本事業では、調査結果の分析等をフィードバックさせていただくと共に、DMO・観光振興団体におけるAI・IT利活用の人材育成のプログラムを策定することを目指しております。

お忙しいところ恐れ入りますが、よろしくお願いします。12月1日(月)までに回答をお願いします。

令和 7年11月吉日
調査主体者：学校法人イデア熊本アジア学園
専門学校イデアITカレッジ阿蘇
校長　井手　修身

メールアドレス *
有効なメールアドレス
このフォームではメールアドレスが収集されます。 設定を変更

Q1 貴社・団体情報
説明（省略可）

貴社・団体名（必須） *
長文回答

所在地（都道府県） *
長文回答

貴社・団体のタイプ *
（2025年10月1日現在）
①観光庁登録DMO
②観光庁候補法人DMO
③上記1.2.以外の観光協会等
④旅館・温泉組合
⑤まちづくり会社・団体
その他:

会員数（2025年10月1日現在） *
短文回答

従業員数（2025年10月１日現在） *
※臨時雇用者、他からの派遣、出向を含む。
短文回答

実施業務（複数選択） *
①観光案内所管理・運営
②ふるさと納税業務
③観光体験コンテンツ企画・運営
④商品開発・販売
⑤観光情報発信・広報
⑥イベント企画・運営
⑦地域観光戦略策定・推進



その他:

Q2 情報発信・集客・予約へのIT・AIの導入状況を教えてください。 *

	導入している	今後導入したい	導入の予定はない
①自社でSNSの運用（...			
②自社サイトの運営・...			
③自治体のふるさと納...			
④自動翻訳機を使った...			
⑤お客さまとシステム...			
⑥AI自動翻訳・AIチャッ...			

Q3 マーケティング・テクノロジーサービスの導入状況を教えてください。 *

	導入している	今後導入したい	導入の予定はない
①自社での簡単な調査...			
②ビッグデータの収集...			
③人流カウンターやラ...			
④体験コンテンツ、宿...			
⑤生成AI・要約等のAI活...			

Q4 社内環境・会員とのコミュニケーションへのIT・AIの導入状況を教えてください。 *

	導入している	今後導入したい	導入の予定はない
①デジタルツール（Zoo...			
②クラウド上のソフト...			
③クラウド型基幹（会...			
④生成AIを活用した会...			

Q5 DXへの取組や関心について *
DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、単なるIT活用による作業の効率化ではなく、デジタル技術によって、人々の生活がより良くなるような変革や、既存の価値観を覆す技術の革新がもたらされることを意味します。

	取組に着手している	関心がある・検討して...	関心はない
①MaaS（複数の公共交...			
②他産業（農業・福祉...			
③エリア全体で統一し...			
④現実と仮想の世界を...			
⑤AI・IoT・データ連携...			

Q6 AI活用の必要性について *
非常に感じる
ある程度感じる
あまり感じない
必要ない

Q7 現在、将来のAI・IT利活用人材について
現在、将来の人材ニーズについてお尋ねします。
各項目で該当するものをお答えください。

（1）求められる人材の職種 *

	現在は充足している	今後は確保してい...	現在すでに求人し...	不足しているが現...
①専門人材CMO（C...				
②専門人材CFO（C...				
③スタッフ人材：...				

①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート設計、団体等依頼、実施

アンケート設計は、R4年度実施のDX人材育成アンケートと比較できるように調整。

▼DMO/観光振興団体向けアンケート



積極的に採用したい
条件が合えば採用したい
今後検討したい
現時点では予定なし

Q11 リスキリングに関するニーズ
従業員の人材育成・教育についてお尋ねします。

	すでに実施している	今後実施したい	関心はあるが予定…	必要性を感じない
①職員・会員向け…				
②経営層向けのリ…				
③外部講師や教育…				
④専門学校・大学…				
⑤自主学習支援（…				

Q12 リカレント・リスキリングの費用負担についてお答えください。
説明（省略可）

（1）会社主導でのリスキリング・研修・セミナーなどについて教えてください。
会社負担
行政等が主催で無料
個人負担で会社が一部助成
特に会社主導のリスキリングは実施していない

（2）従業員の自主的なリカレント・研修・セミナー参加などについて教えてください。
会社負担
個人負担で会社が一部助成
会社負担は無し

Q13 Q8の(1)で、既存従業員へのIT利活用の人材育成を**「今後、導入してみたい」**、質問(2)で、AI・IT利活用人材の新規採用について、**「具体的に採用したい」、「今後、検討していきたい」**と回答した方には、事務局から改めて連絡等をさせていただきます。下記の連絡先をご記入ください。
※該当しない方は、**「該当しない」**と記載ください。
説明（省略可）

担当者氏名
長文回答

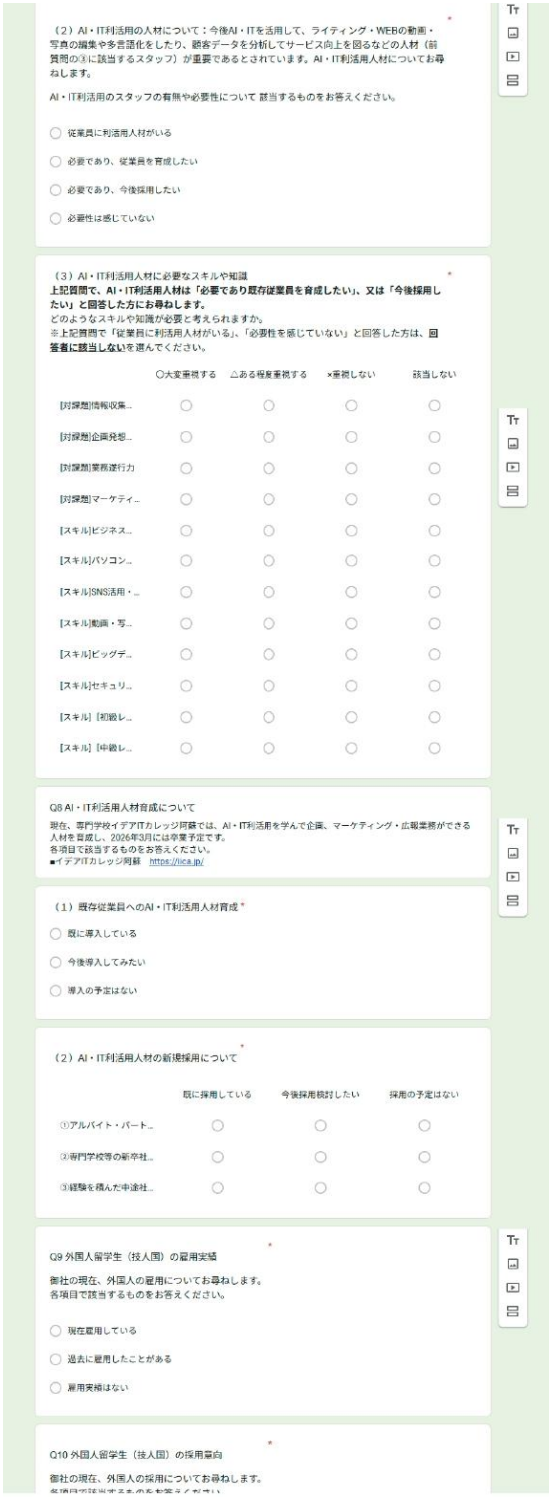
メールアドレス
長文回答

電話番号※半角数字、ハイフン有で記載してください。
長文回答

Q14 本アンケート調査に関することでご意見、質問等ありましたらご記入ください。
長文回答

■本調査に関するお問合せ
【調査主体者】
学校法人イデア熊本アジア学園　専門学校イデアITカレッジ阿蘇
担当：廣瀬　hirose@iica.jp

アンケート調査にご協力頂きまして、誠にありがとうございました。
下部の**「送信」を押して、アンケート終了**となります。
調査の情報につきましては、学校法人イデア熊本アジア学園が責任をもって管理いたします。



（2）AI・IT利活用の人材について：今後AI・ITを活用して、ライティング・WEBの動画・写真の編集や多言語化をしたり、顧客データを分析してサービス向上を図るなどの人材（前質問の③に該当するスタッフ）が重要であるとされています。AI・IT利活用人材についてお尋ねします。
AI・IT利活用のスタッフの有無や必要性について 該当するものをお答えください。
従業員に利活用人材がいる
必要であり、従業員を育成したい
必要であり、今後採用したい
必要性は感じていない

（3）AI・IT利活用人材に必要なスキルや知識
上記質問で、AI・IT利活用人材は「必要であり既存従業員を育成したい」、又は「今後採用したい」と回答した方にお尋ねします。
どのようなスキルや知識が必要と考えられますか。
※上記質問で「従業員に利活用人材がいる」、「必要性を感じていない」と回答した方は、**回答者に該当しない**を選んでください。

	○大変重視する	△ある程度重視する	×重視しない	該当しない
[対課題]情報収集…				
[対課題]企画発想…				
[対課題]業務遂行力				
[対課題]マーケティ…				
[スキル]ビジネス…				
[スキル]パソコン…				
[スキル]SNS活用・…				
[スキル]動画・写…				
[スキル]ビッグデ…				
[スキル]セキュリ…				
[スキル]【初級レ…				
[スキル]【中級レ…				

Q8 AI・IT利活用人材育成について
現在、専門学校イデアITカレッジ阿蘇では、AI・IT利活用を学んで企画、マーケティング・広報業務ができる人材を育成し、2026年3月には卒業予定です。
各項目で該当するものをお答えください。
■イデアITカレッジ阿蘇　https://iica.jp/

（1）既存従業員へのAI・IT利活用人材育成
既に導入している
今後導入してみたい
導入の予定はない

（2）AI・IT利活用人材の新規採用について

	既に採用している	今後採用検討したい	採用の予定はない
①アルバイト・パート…			
②専門学校等の新卒社…			
③経験を積んだ中途社…			

Q9 外国人留学生（技人国）の雇用実績
御社の現在、外国人の雇用についてお尋ねします。
各項目で該当するものをお答えください。
現在雇用している
過去に雇用したことがある
雇用実績はない

Q10 外国人留学生（技人国）の採用意向
御社の現在、外国人の採用についてお尋ねします。

①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート設計、団体等依頼、実施

アンケート設計は、R4年度実施のDX人材育成アンケートと比較できるように調整。

▼宿泊事業者向けアンケート



宿泊施設におけるAI・IT導入と活用の中核人材と外国人材ニーズに関する調査のお願い

この度、**令和7年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」**におきまして、観光業のAI・IT活用中核人材ニーズに関する調査を実施いたします。
宿泊業では、労働生産性の低さに応えていく「業務の効率化」や、外国人・国内旅行者の多様なニーズに応えていく「情報のデジタル化」は大きな課題であり、その解決策の１つとして、AI・ITの活用が重要であるといえます。また、宿泊業では、慢性的な人材不足であり、外国人材の活用も大きな課題であると考えられます。

本調査では、宿泊施設のAI・IT導入の現状を把握すると共に、人材の中で特に、AI・IT利活用の中核人材ニーズ及び外国人材活用についてアンケート調査をさせていただきます。

本事業では、調査結果の分析等を業界団体を通してフィードバックさせていただくと共に、観光業界におけるAI・IT利活用の人材育成のプログラムを策定することを目指しております。

お忙しいところ恐れ入りますが、よろしくお願いします。12月1日(月)までに回答をお願いします。

令和 7年11月吉日
調査主体者：学校法人イデア熊本アジア学園
専門学校イデアITカレッジ阿蘇
校長　井手　修身

メールアドレス *
有効なメールアドレス
このフォームではメールアドレスが収集されます。 設定を変更

Q1 宿泊施設の基本情報
基本情報をご回答ください。

宿泊施設名 *
長文回答

宿泊施設所在地 *
長文回答

宿泊施設のタイプ *
（2025年10月1日現在）
①旅館
②リゾートホテル
③ビジネスホテル
④シティホテル
その他:

客室数 *
（2025年10月1日現在）
短文回答

収容人数 *
（2025年10月1日現在）
短文回答

従業者数 *
（2025年10月１日現在）
（臨時雇用者、他からの派遣、出向を含む）
短文回答

Q2 IT化（IT導入・IT活用）の現状と今後
御宿泊施設のIT化（AI・ITの導入・活用等）の現状と今後についてお尋ねします。
各項目で該当するものをお答えください。

（1）集客・予約・PR *
導入している　今後導入したい　導入の予定はない



①OTA（オンライン・...
②自社でSNSの運用（...
③自社サイトの運営・...
④自動翻訳機を使った...
⑤AI自動翻訳・AIチャッ...

（2）チェックイン・顧客管理 *
導入している　今後導入したい　導入の予定はない
①紙ベースの宿泊台帳...
②PMS（宿泊予約、販...
③顧客情報のデータベ...
④ロボットによるフロ...
⑤AIを活用した予約管...

（3）サービス改善・顧客満足向上 *
導入している　今後導入したい　導入の予定はない
①Wi-Fi整備とタブレッ...
②風呂・食事処の混雑...
③配膳ロボットの選定...
④生成AIを活用した顧...

（4）会計、勤怠管理 *
導入している　今後導入したい　導入の予定はない
①会計・表計算ソフト...
②会計と給与計算シス...
③クラウド型基幹シス...
④AIを活用した売上・...

（5）DXへの取組や関心 *
DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、単なるIT活用による作業の効率化ではなく、デジタル技術によって、人々の生活がより良くなるような変革や、既存の価値観を覆す技術の革新がもたらされることを意味します。
取組に着手している　関心がある・検討...　関心はあるがわか...　将来も予定なし
①AIを活用し、複...
②他産業（農業・...
③現実と仮想の世...
④AI・IoT・データ...

Q3 AI活用の必要性について *
非常に感じる
ある程度感じる
あまり感じない
必要ない

Q4 現在、将来のAI・IT利活用人材について
御宿泊施設の現在、将来の人材ニーズについてお尋ねします。
各項目で該当するものをお答えください。

（1）求められる人材の職種 *
現在は充足している　今後は確保してい...　現在すでに求人し...　不足しているが現...
①客室係（ベッド...
②接客・給仕・ホ...

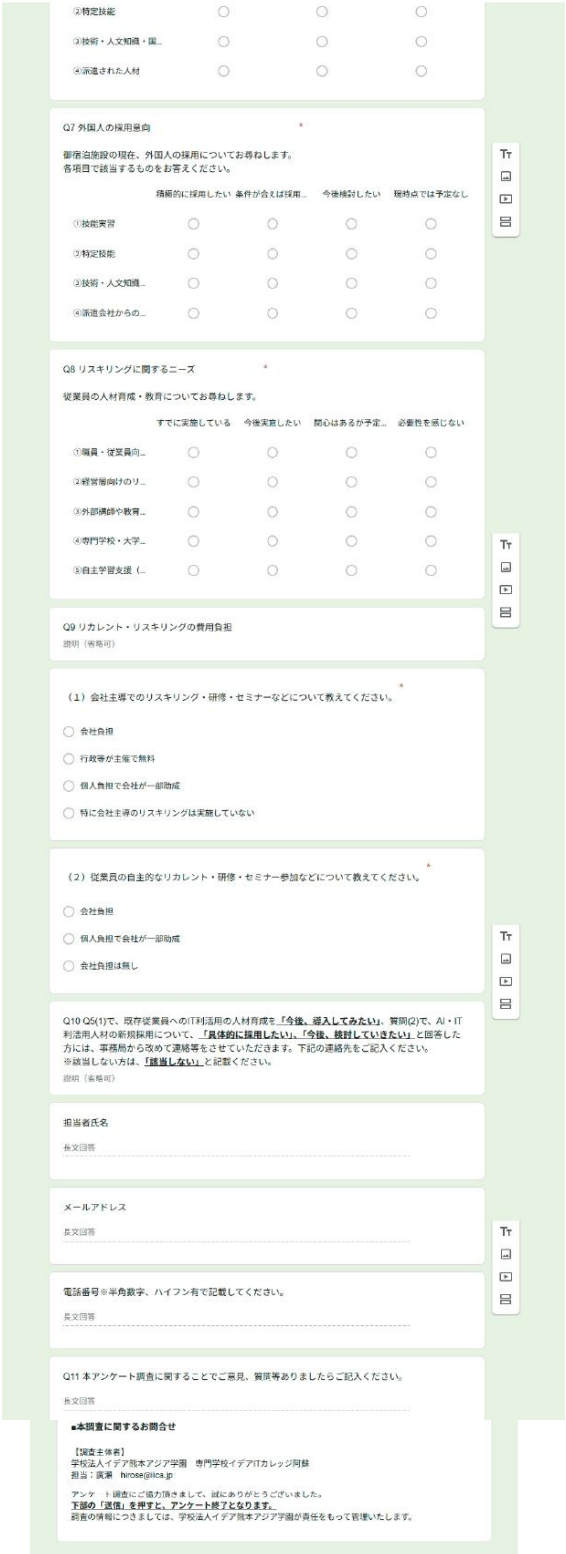
①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート設計、団体等依頼、実施

アンケート設計は、R4年度実施のDX人材育成アンケートと比較できるように調整。

▼宿泊事業者向けアンケート

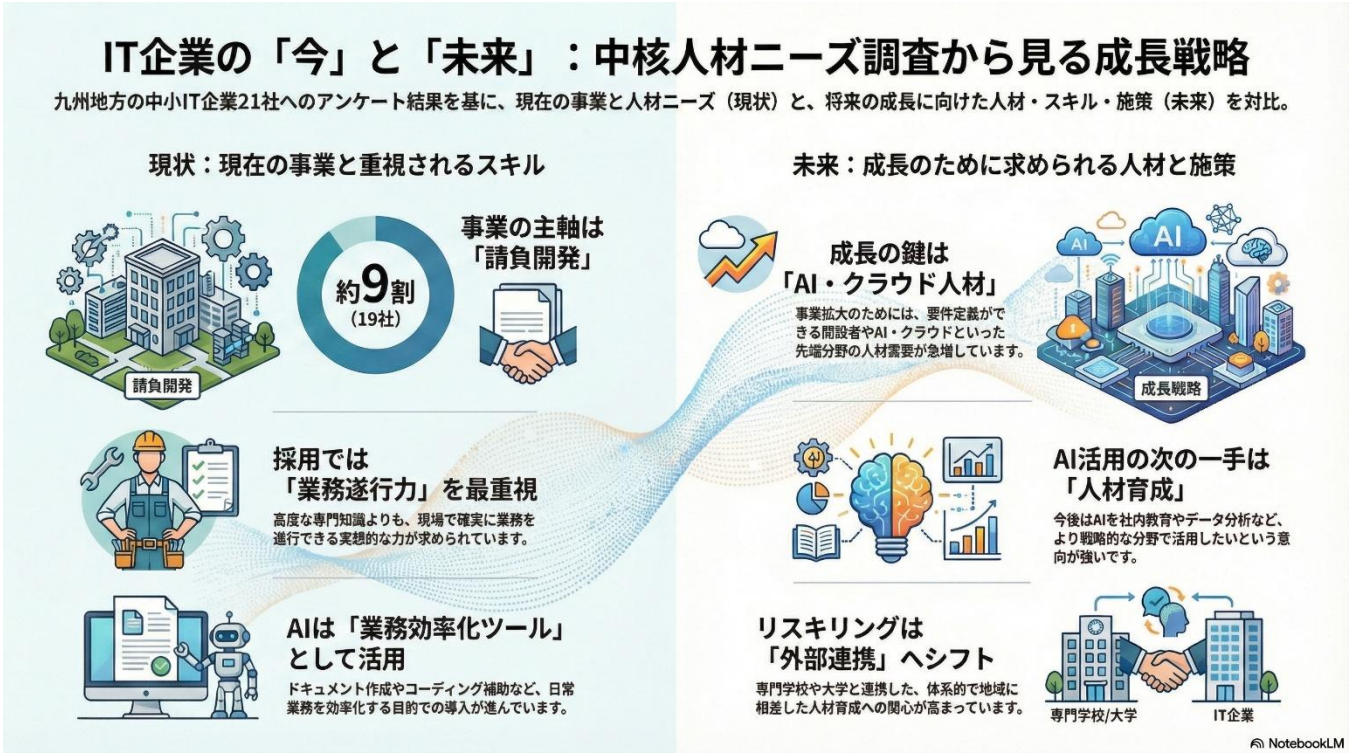




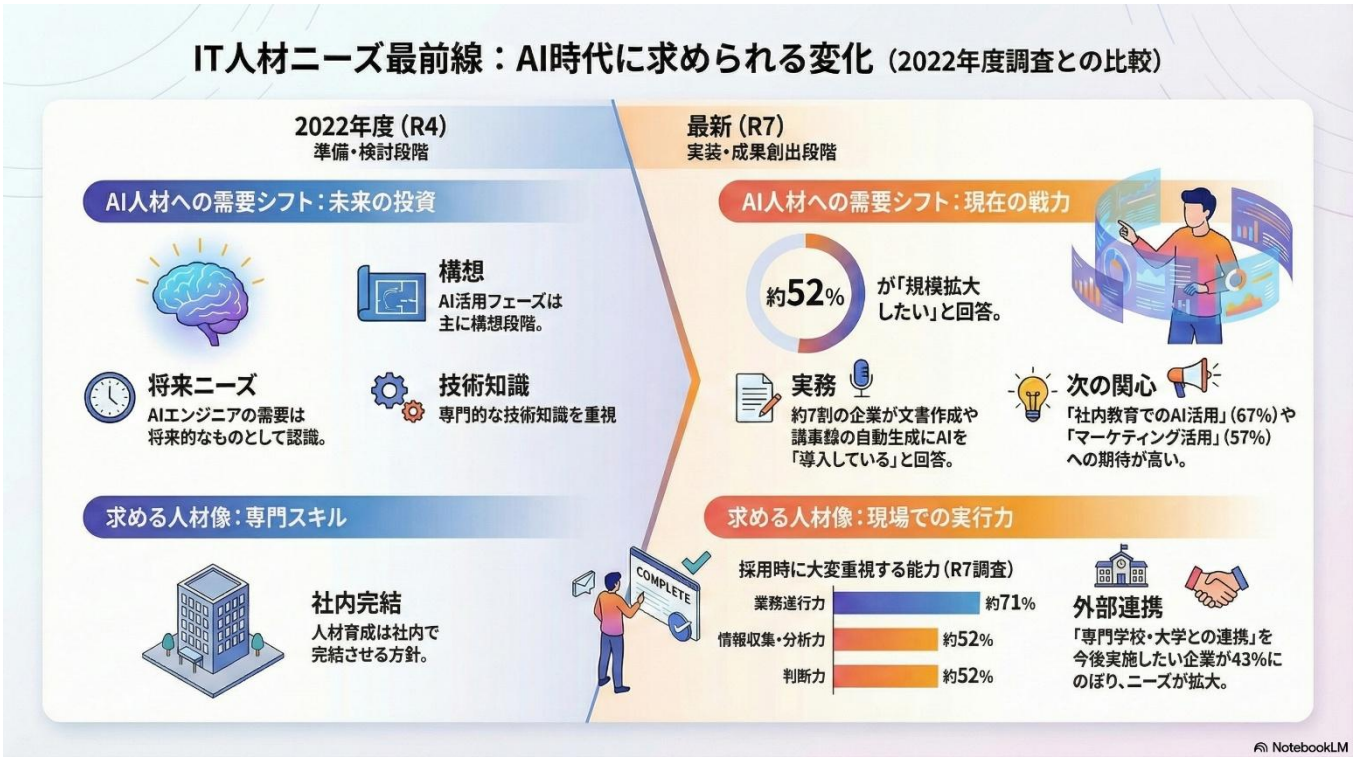
①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果まとめ：IT業界では外部連携での教育が推進。AI活用は戦力の重要ポイントへ。
引き続き「業務遂行力」などの人間力は高く求められる。



追加分析※R4年度調査との比較



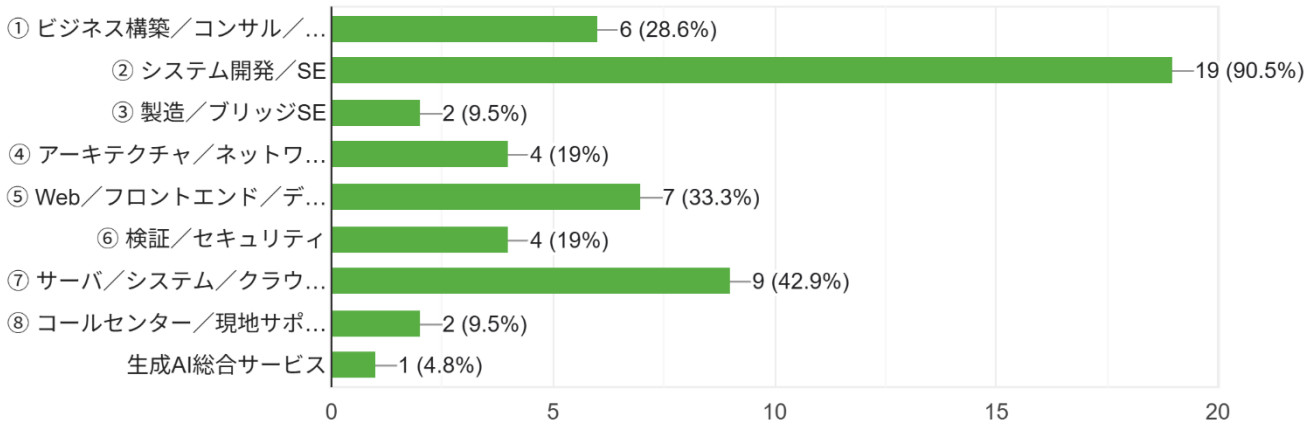
①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：IT企業

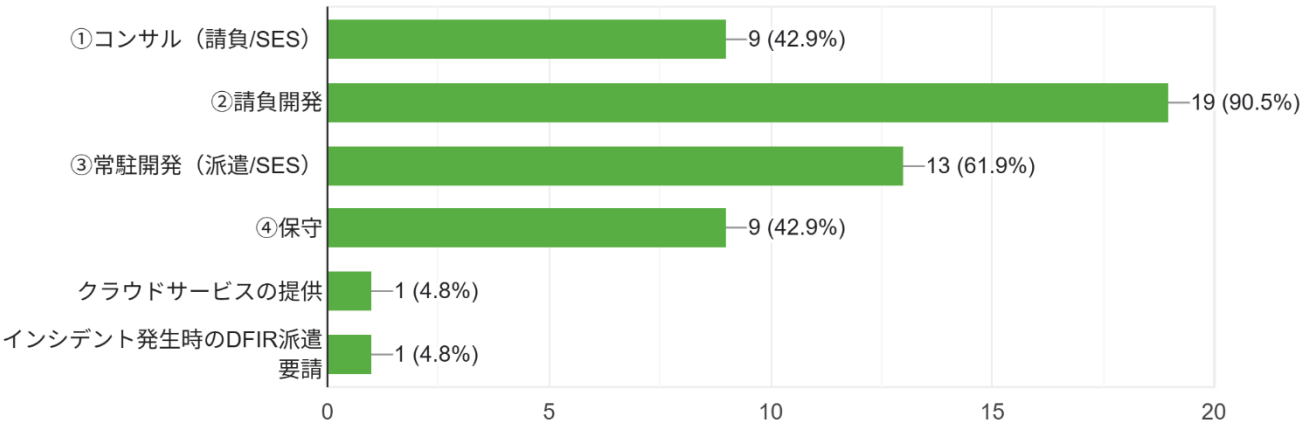
主たる職種 ※複数選択可

21 件の回答



契約タイプ ※複数選択可

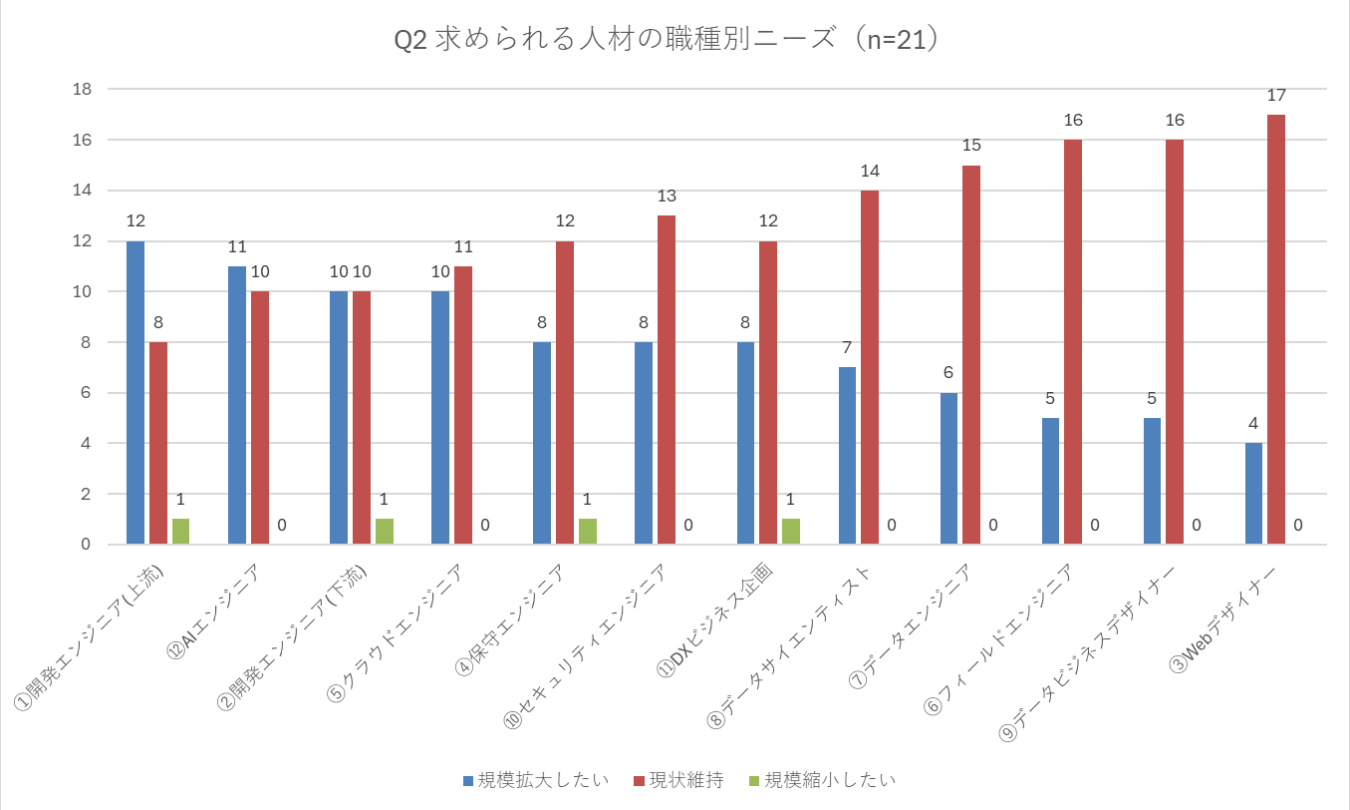
21 件の回答



①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

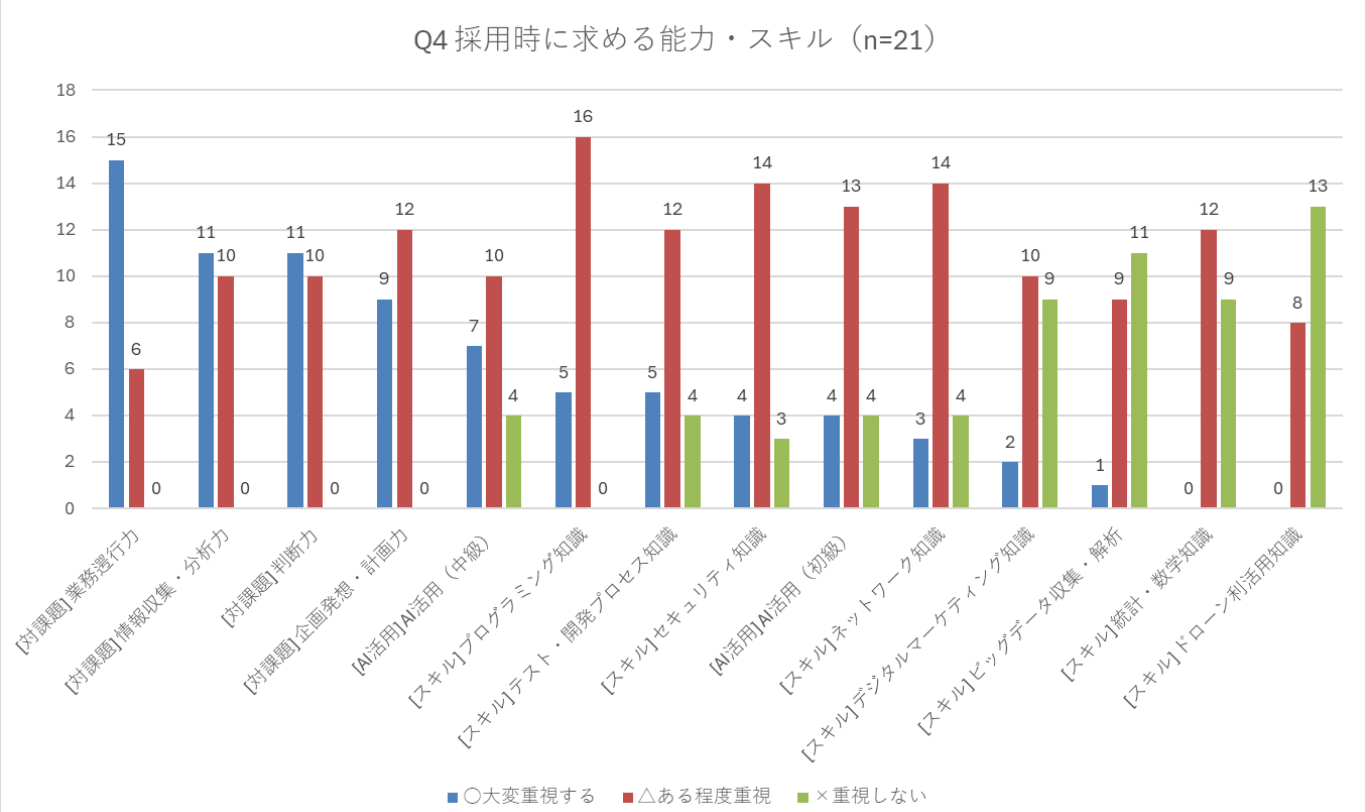
・結果詳細：IT企業

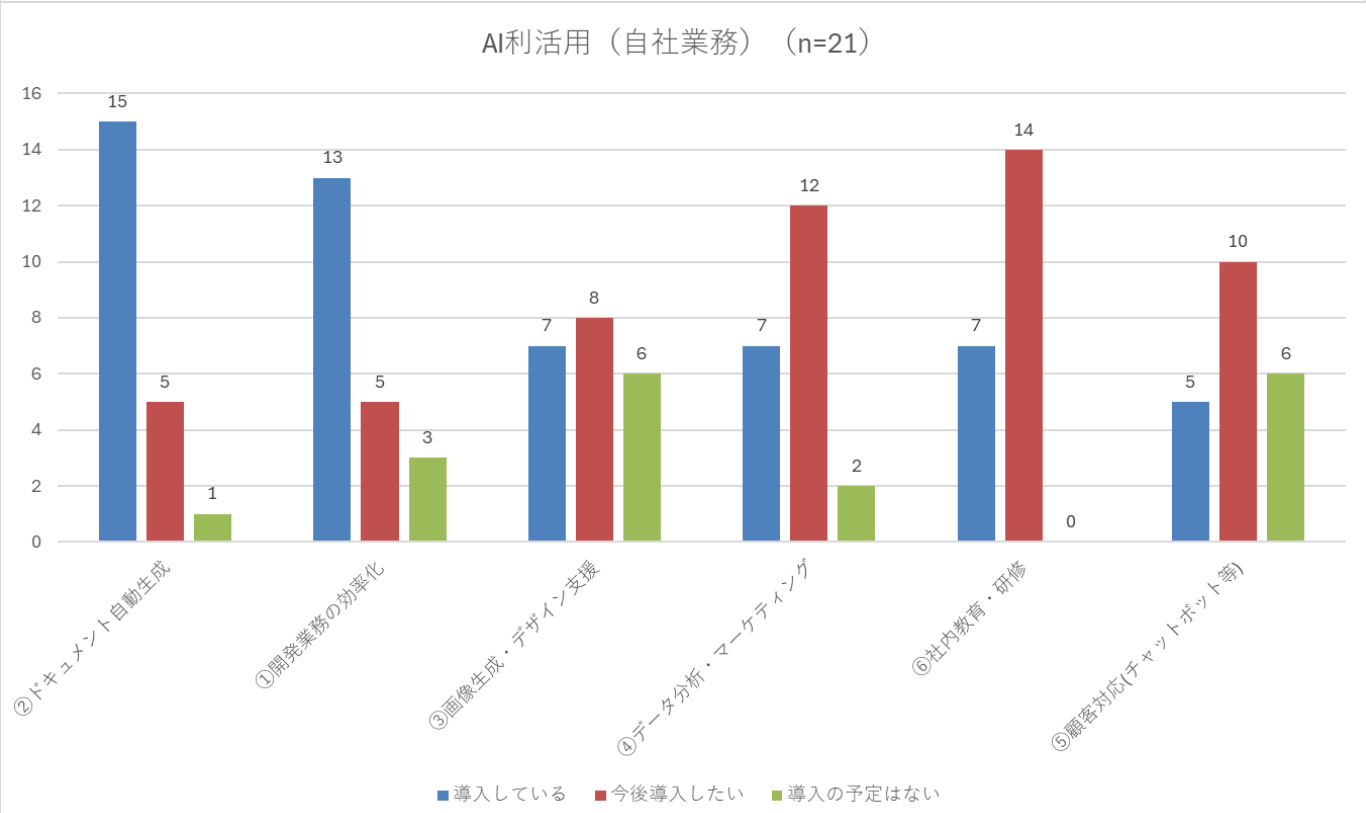


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：IT企業

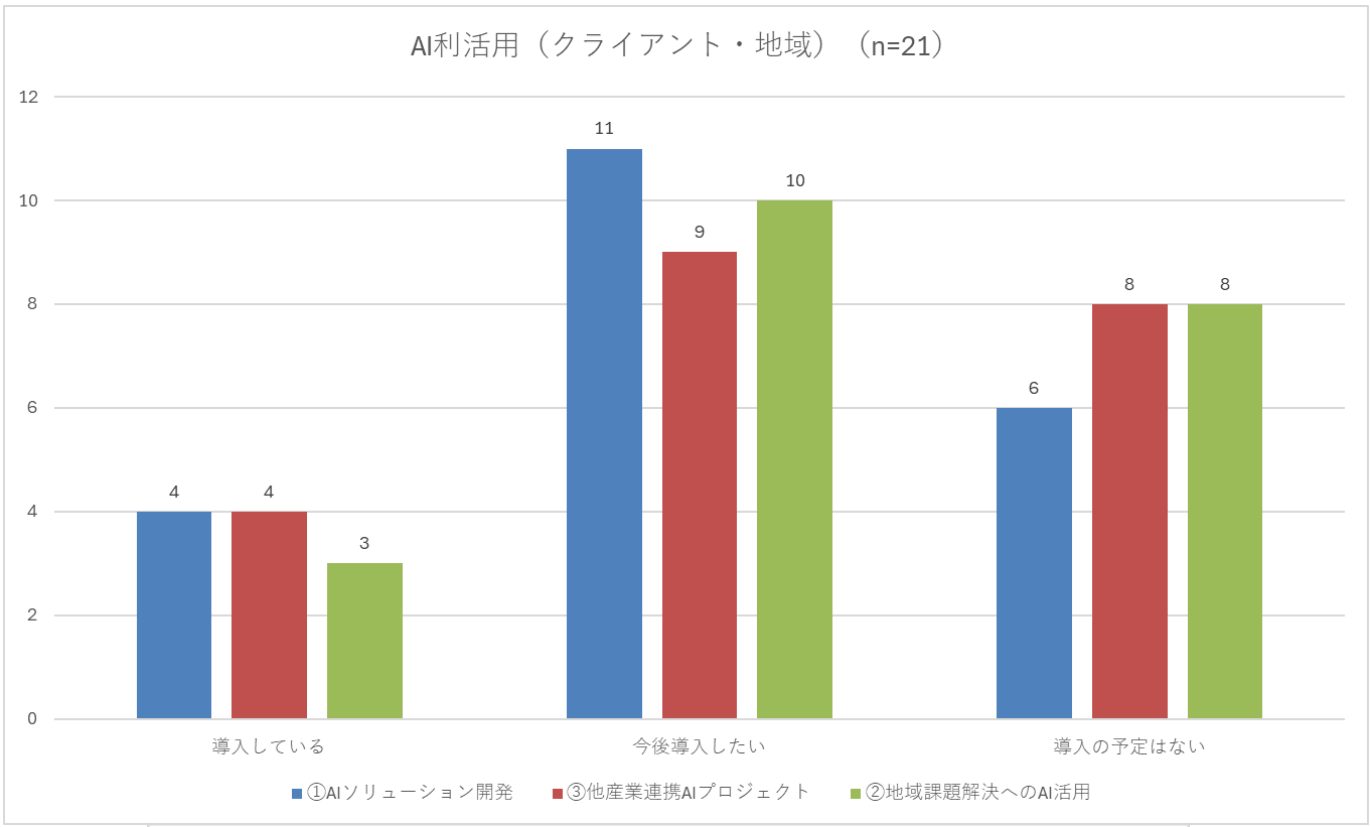


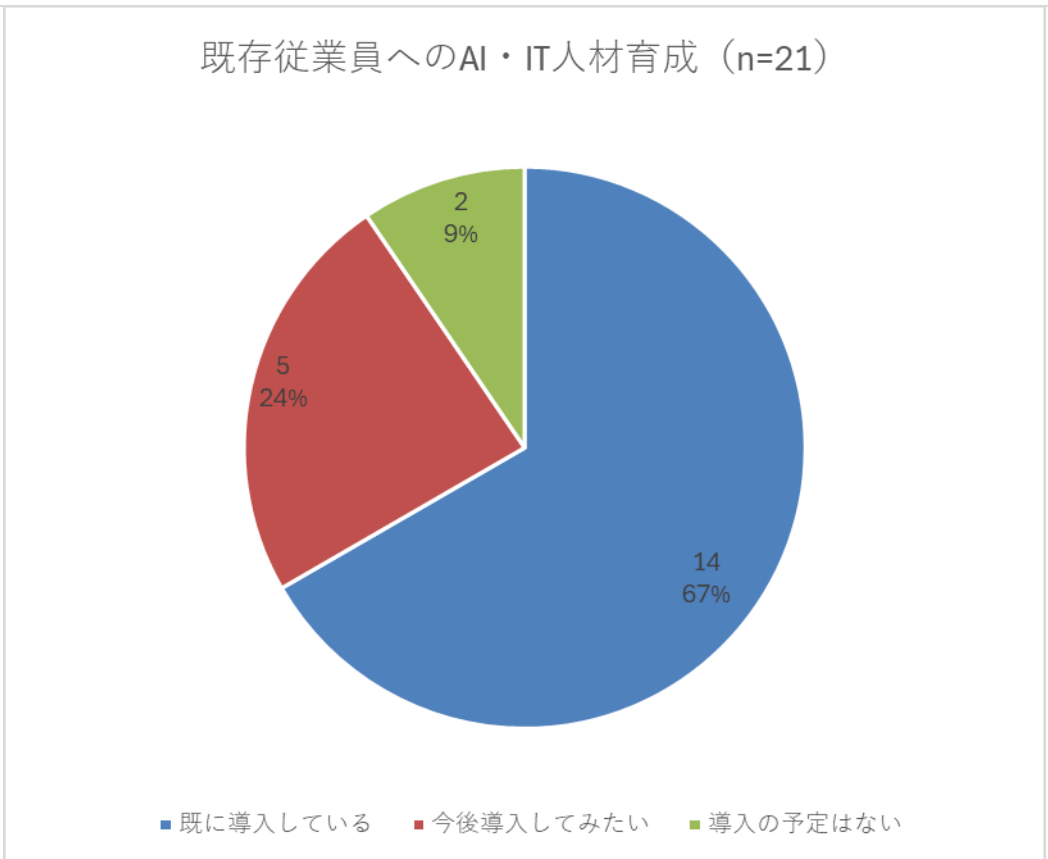


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：IT企業

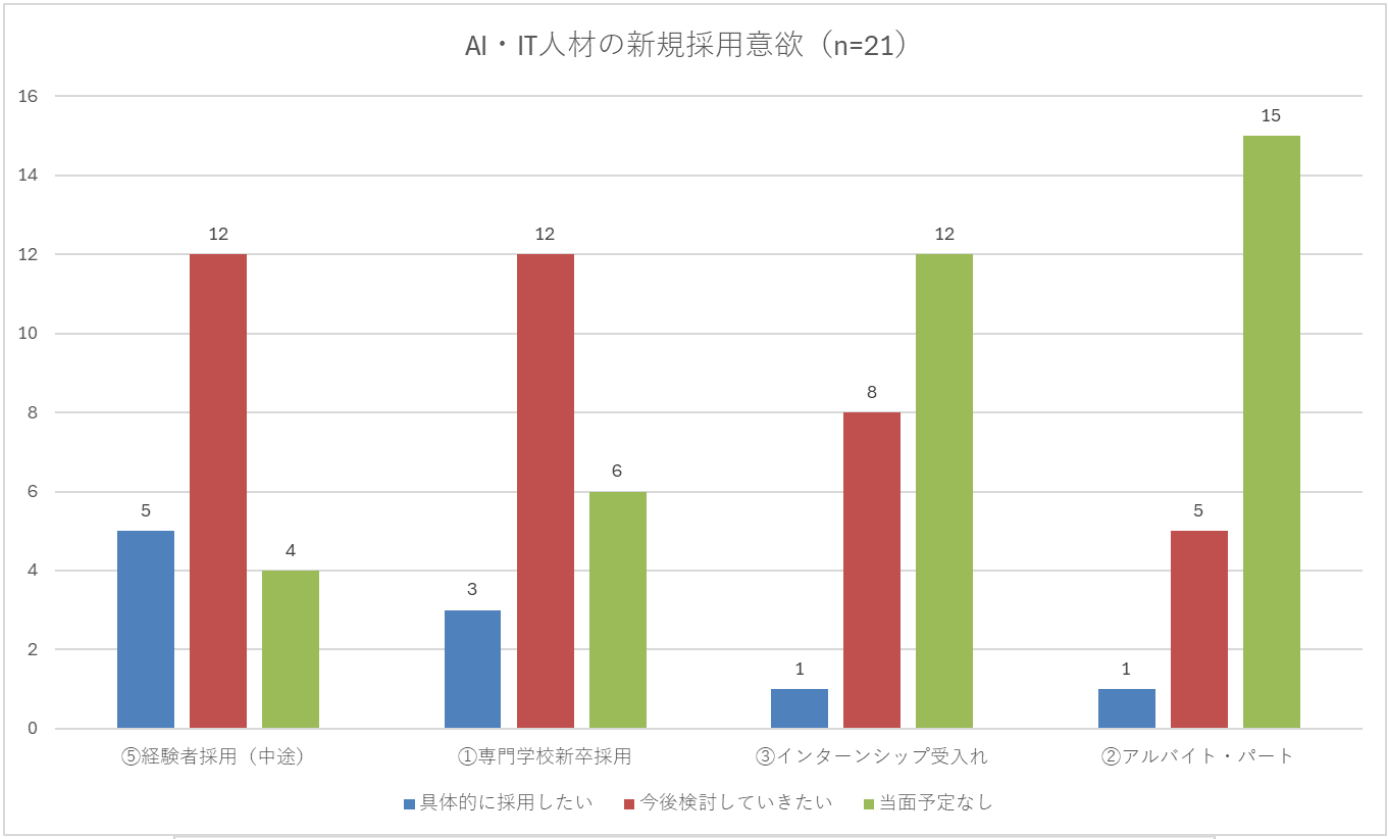


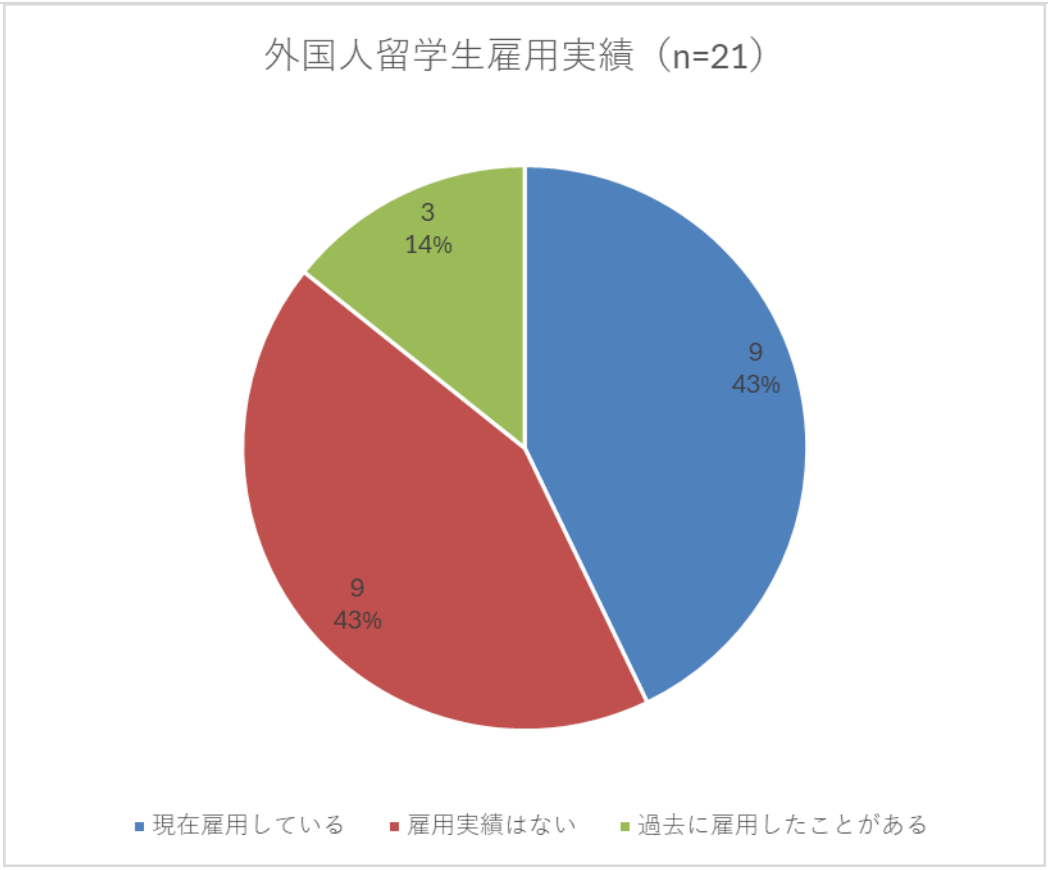


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：IT企業

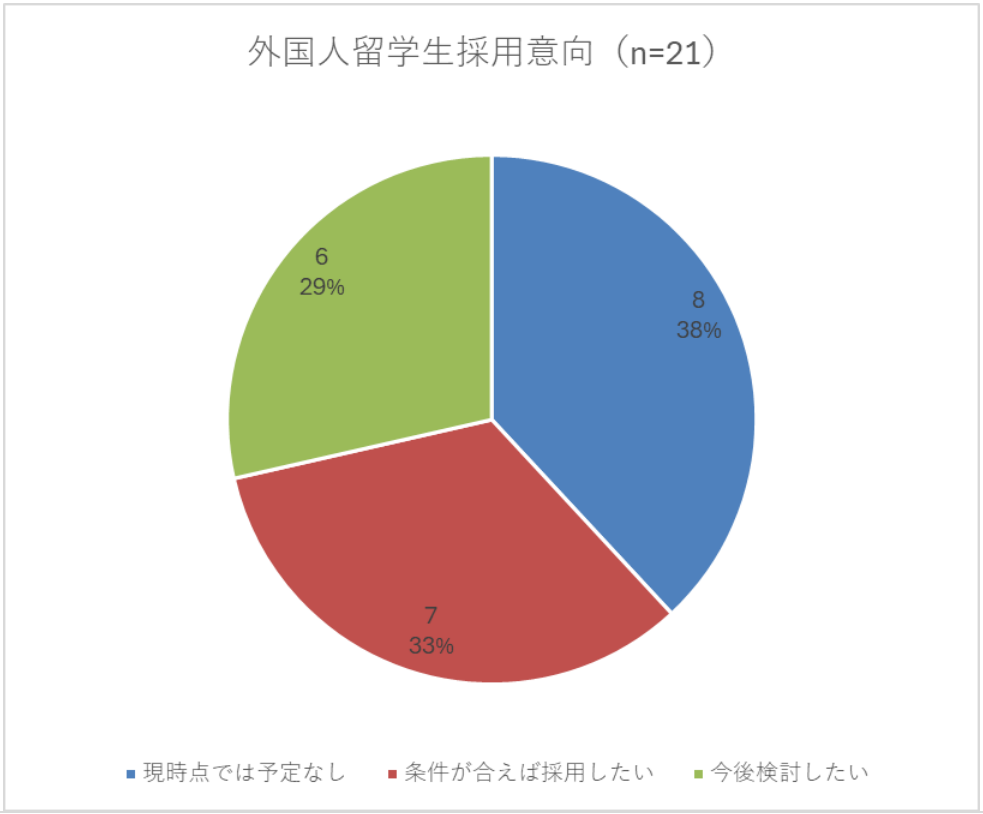


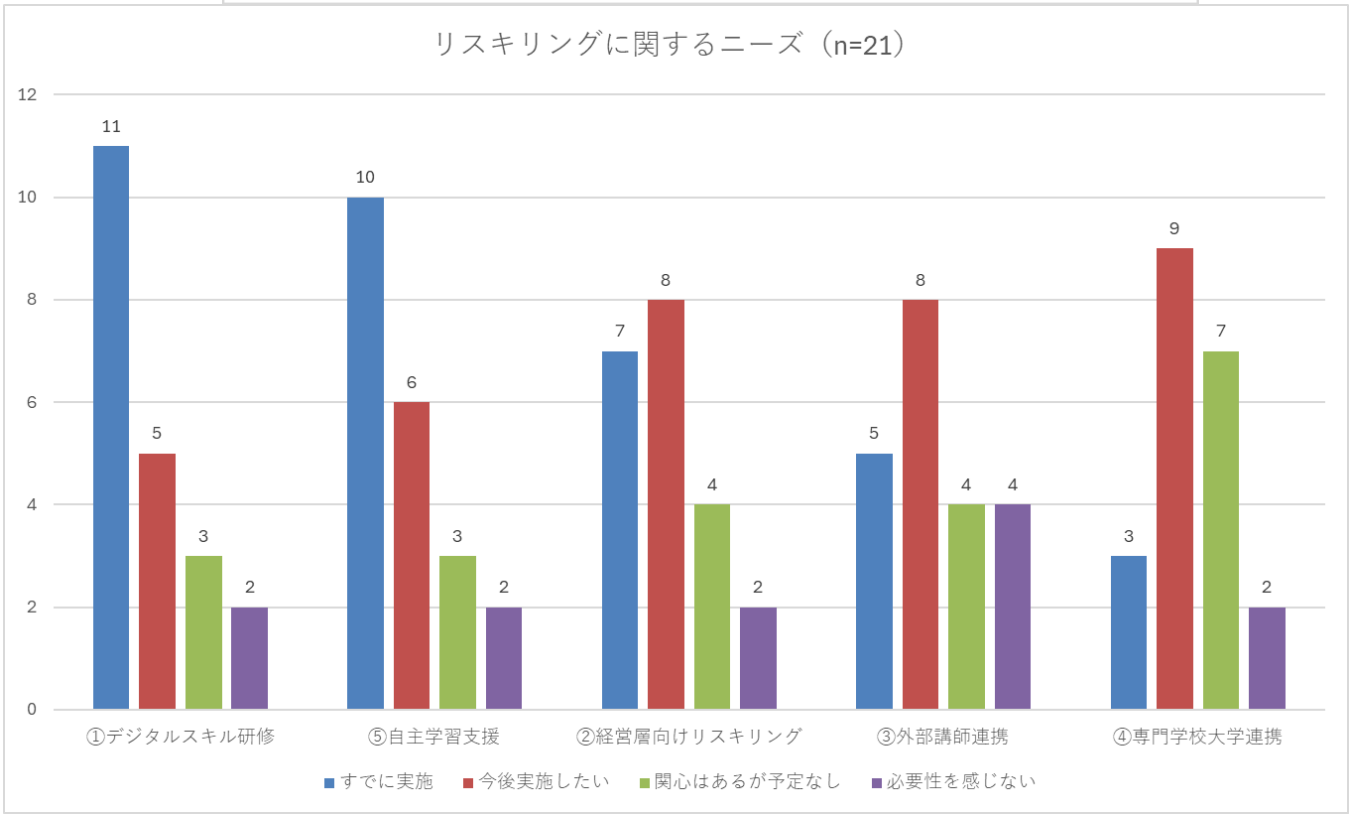


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：IT企業

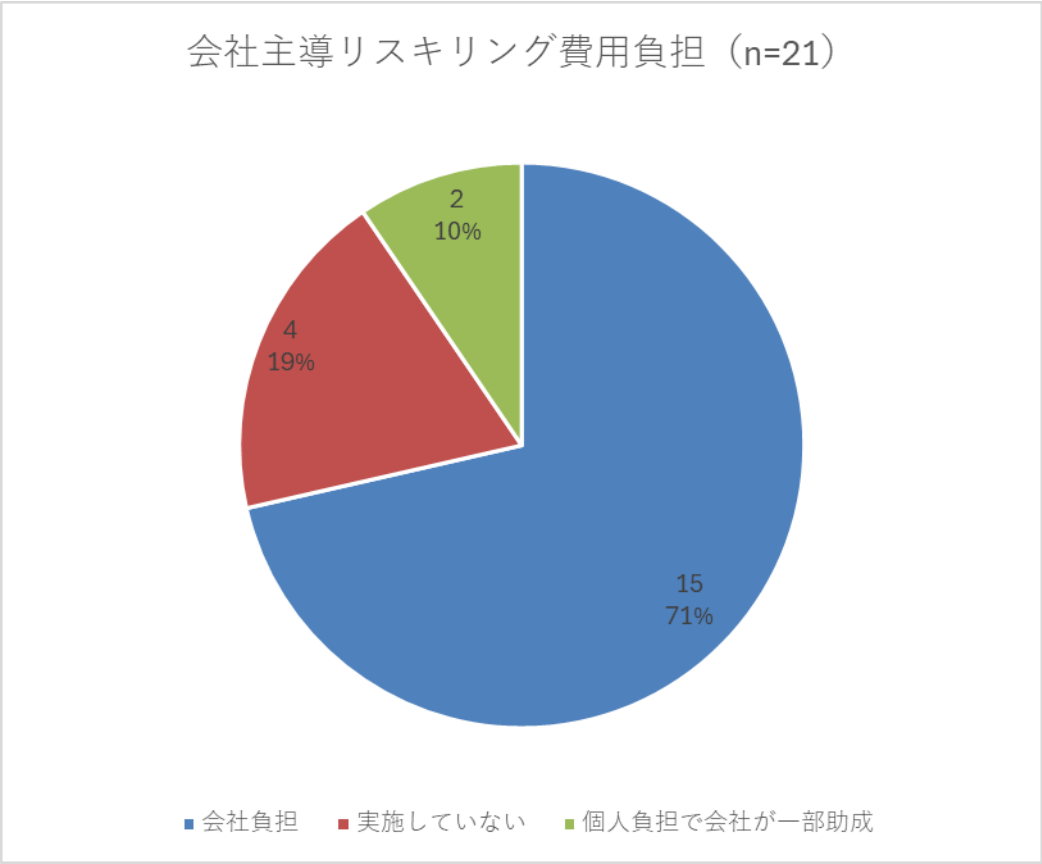




①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

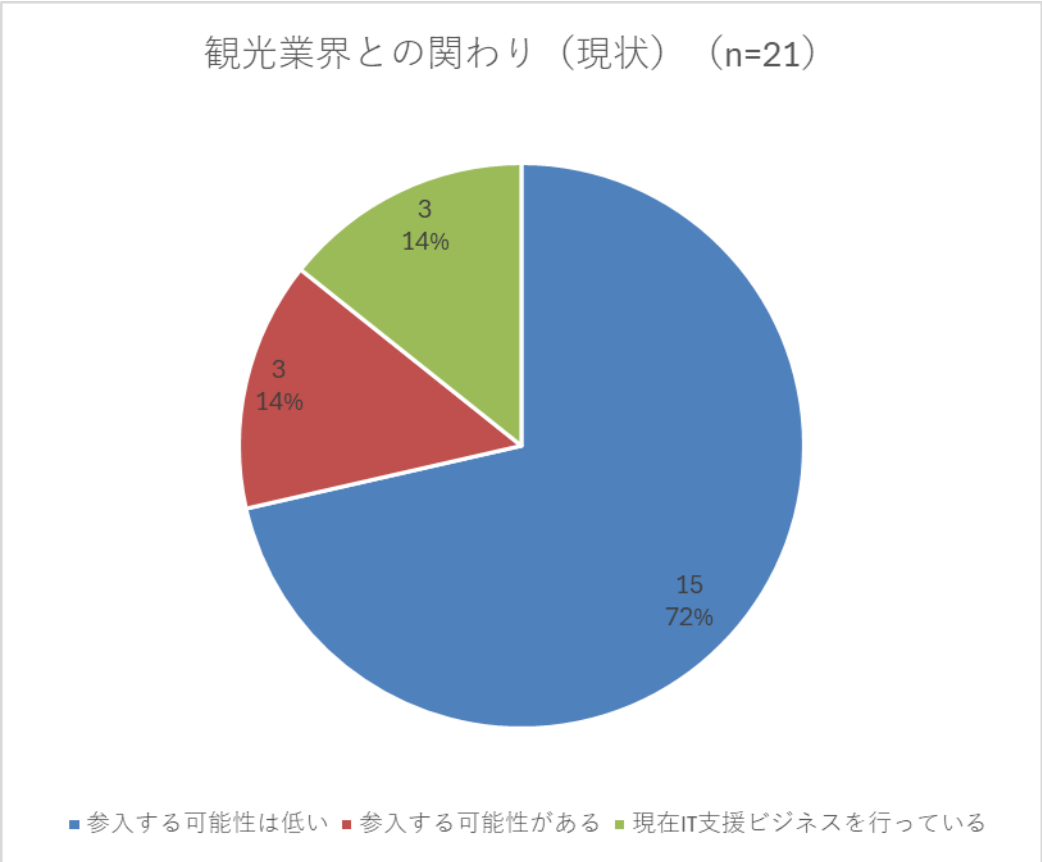
・結果詳細：IT企業

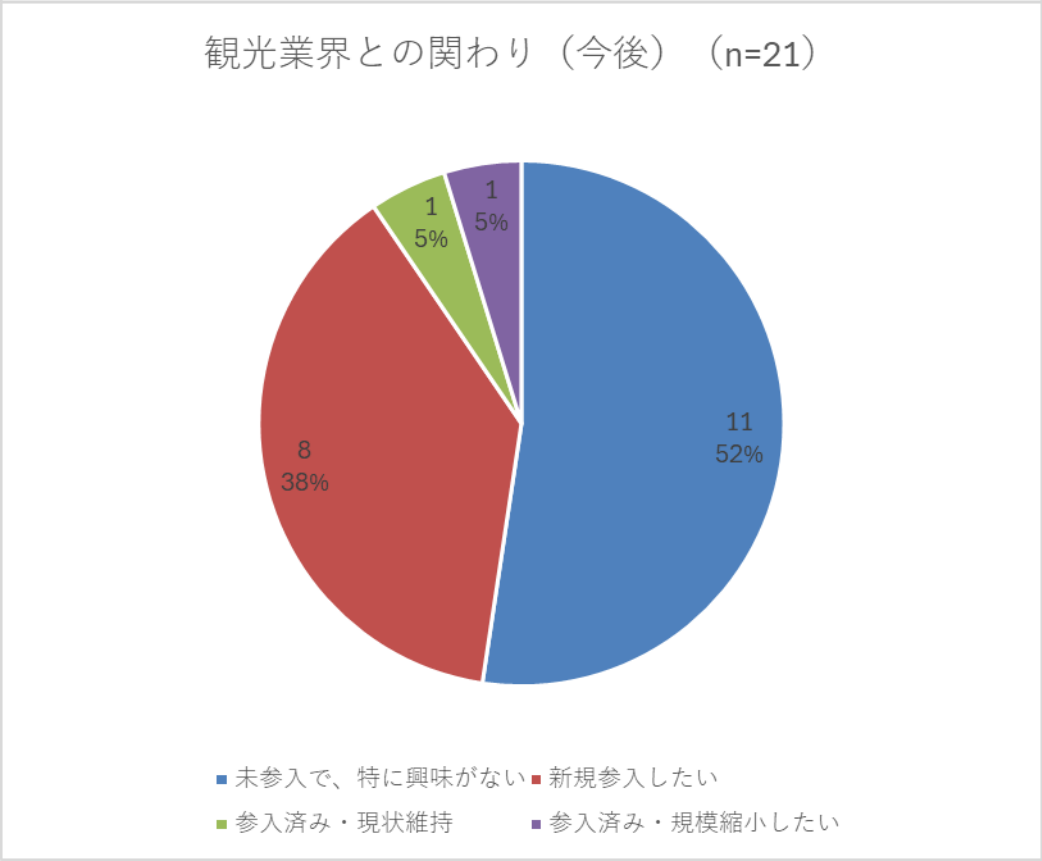


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：IT企業

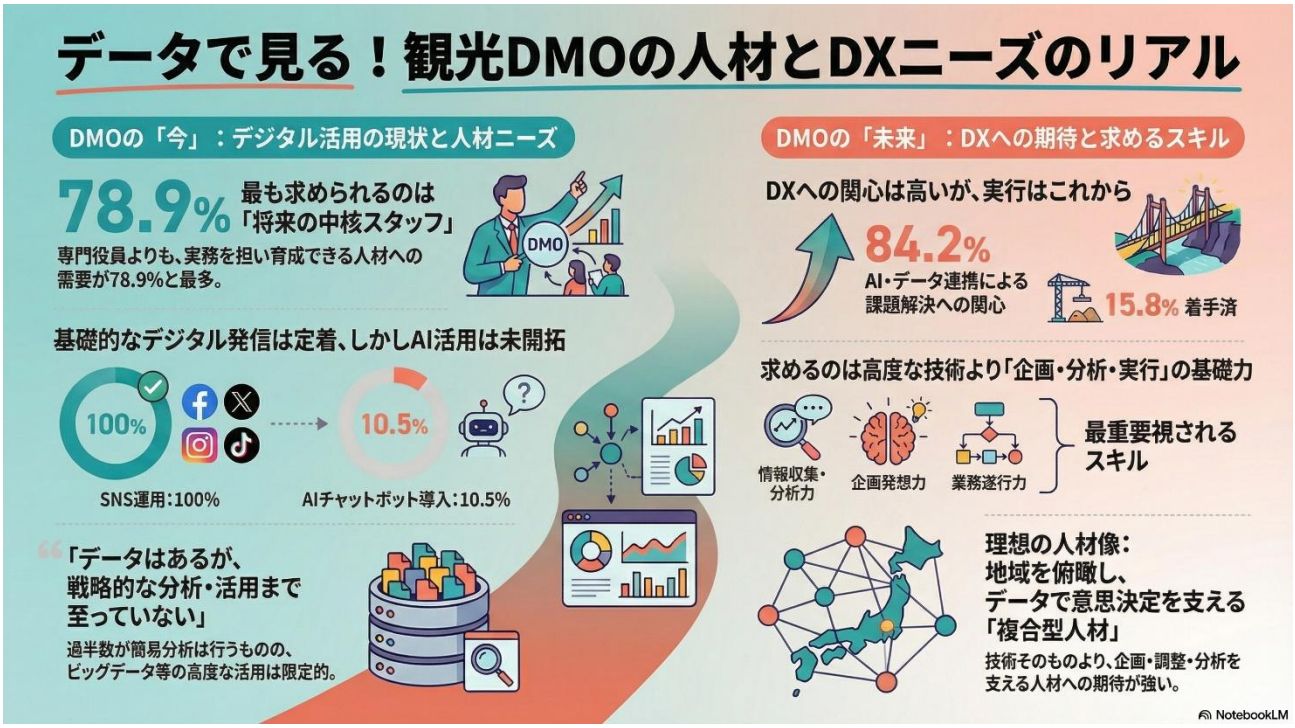




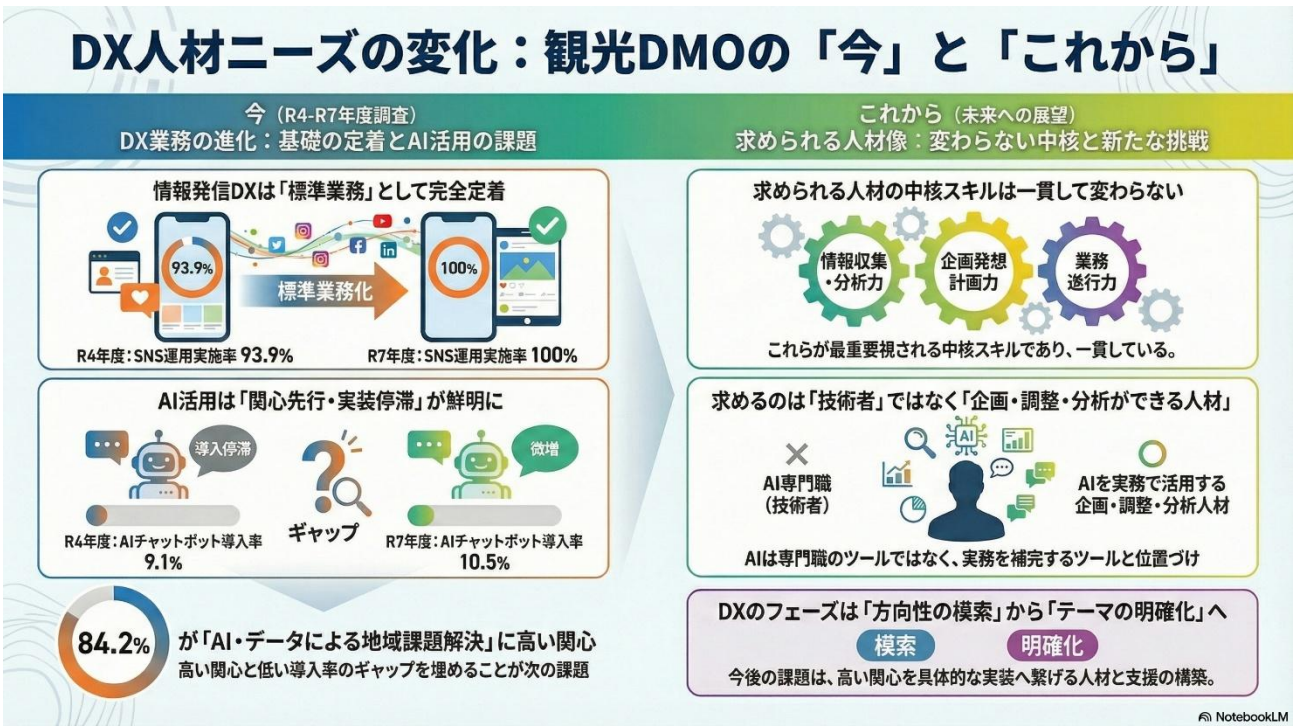
①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果まとめ：DMO/観光振興団体では、AI出現によりより具体的なツールや手段が現実解として見えてきた。求める人材は実践できる企画・調整・分析できる人。



追加分析※R4年度調査との比較



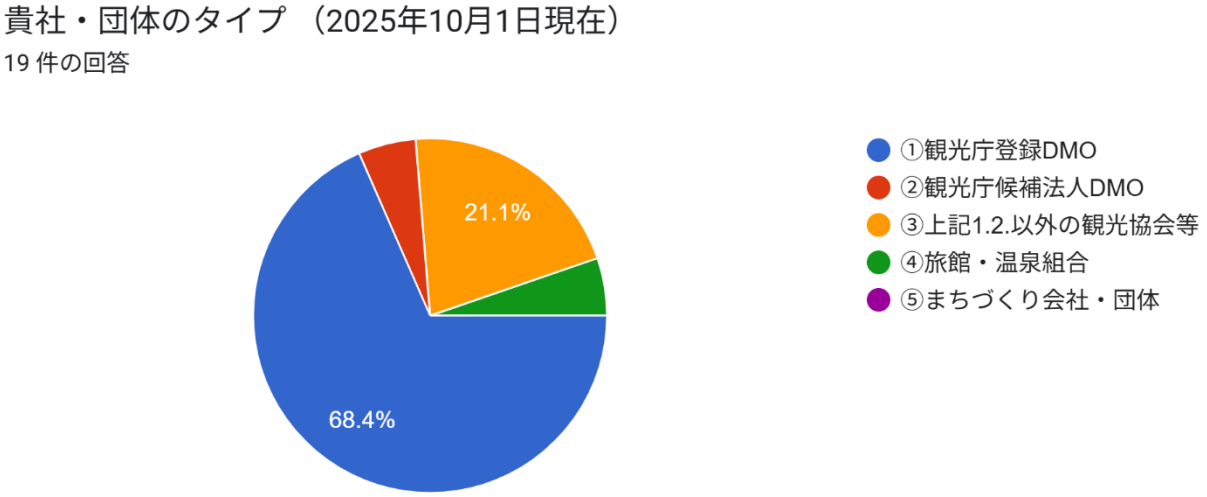
①企業・団体へのアンケート調査

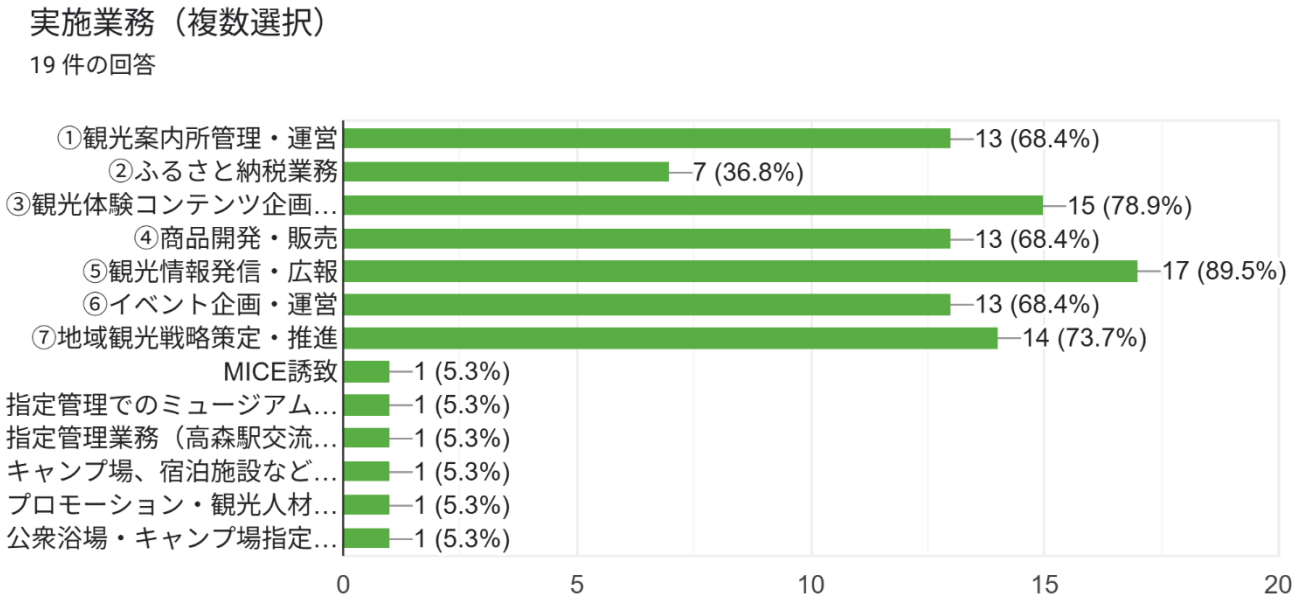
●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細： DMO/観光振興団体

【回答団体の属性】所在地（都道府県）

選択肢	回答数	構成比(%)
熊本県	9	47.40%
大分県	4	21.10%
福岡県	2	10.50%
佐賀県	2	10.50%
長崎県	1	5.30%
宮崎県	1	5.30%
合計	19	100.00%

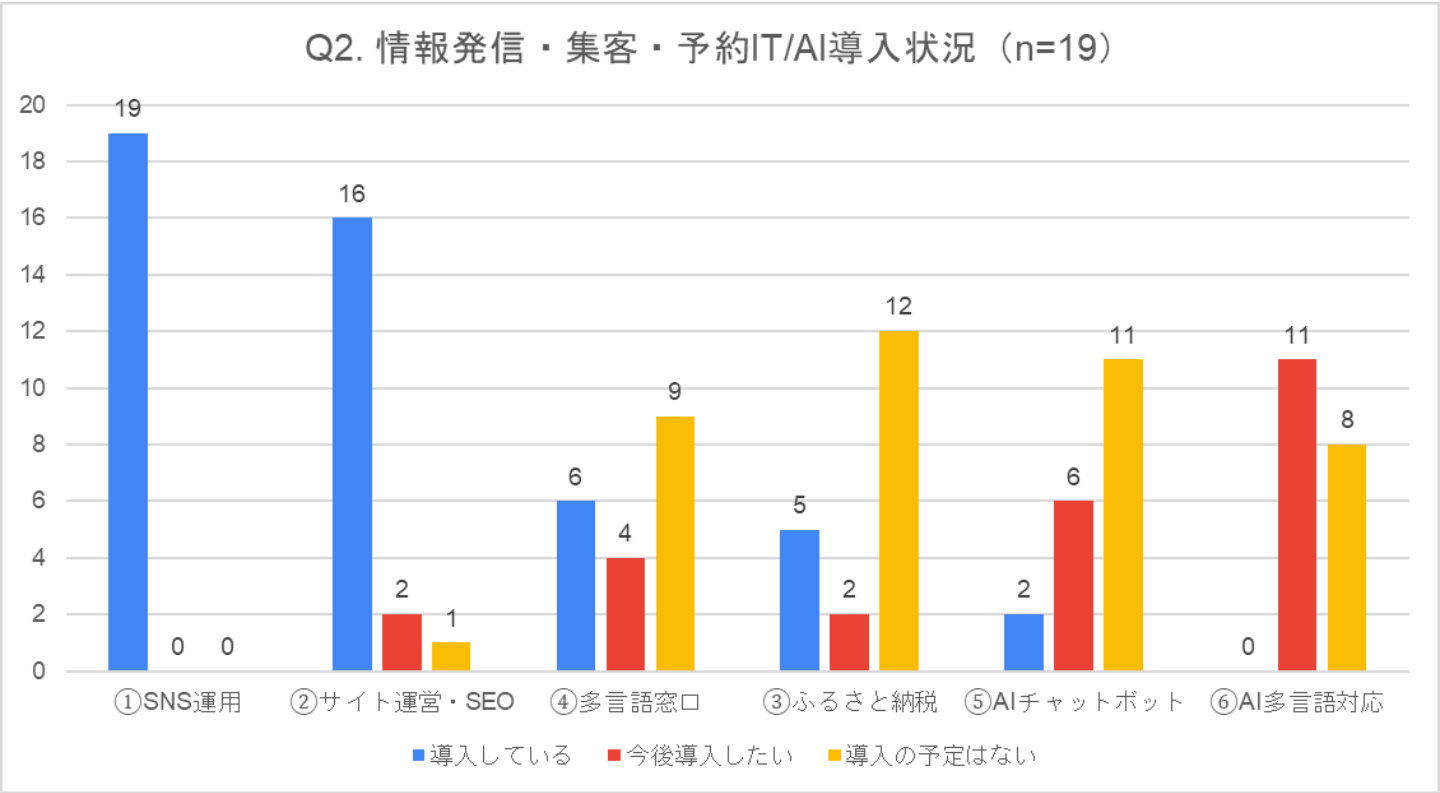


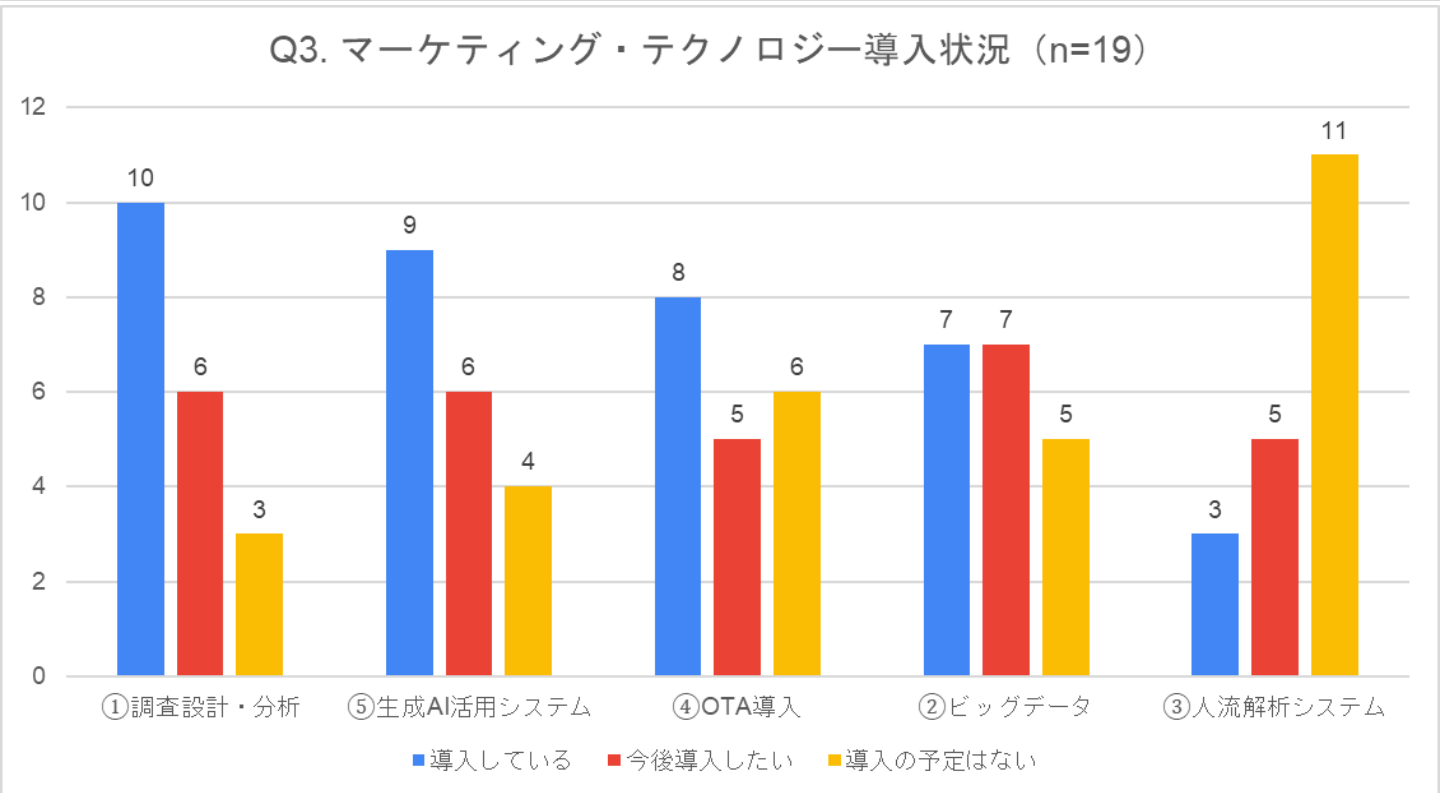


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細： DMO/観光振興団体

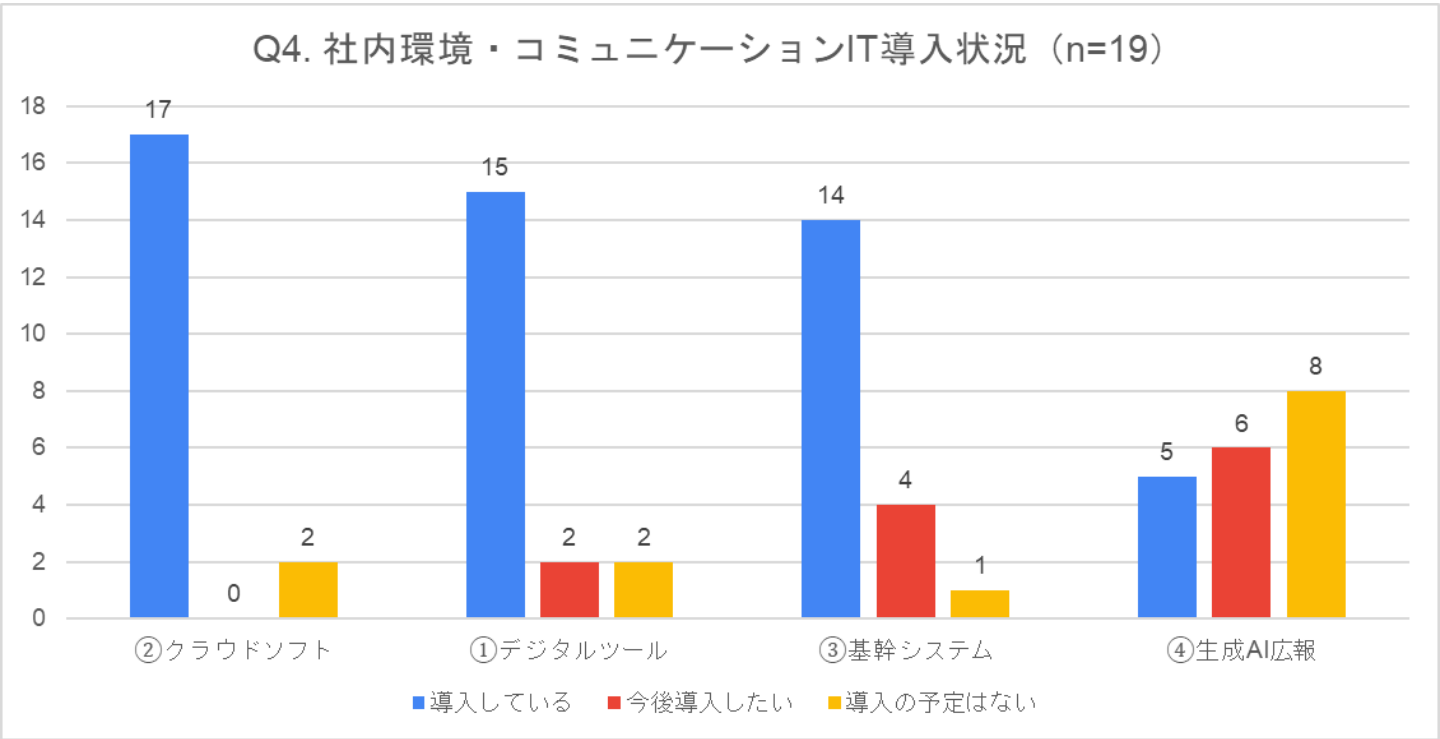


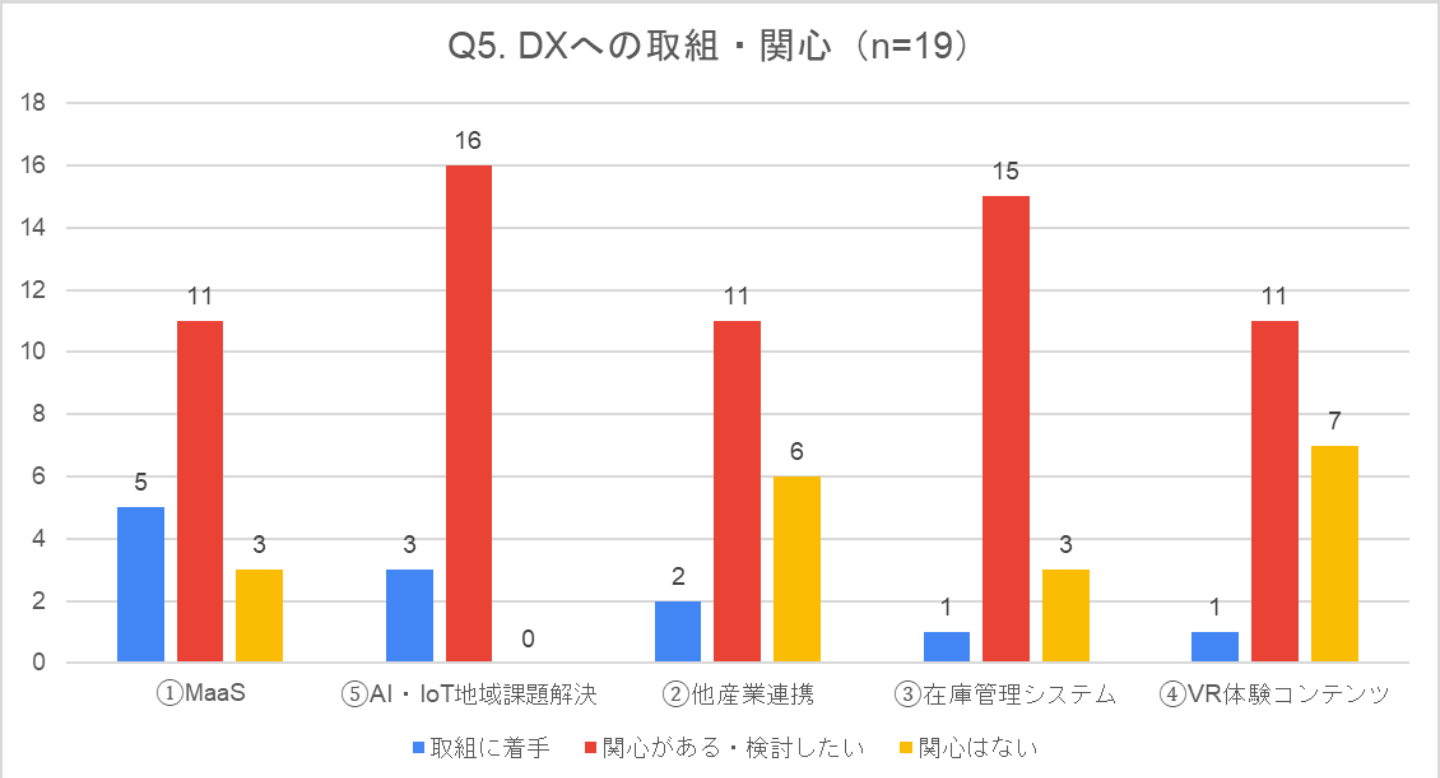


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細： DMO/観光振興団体

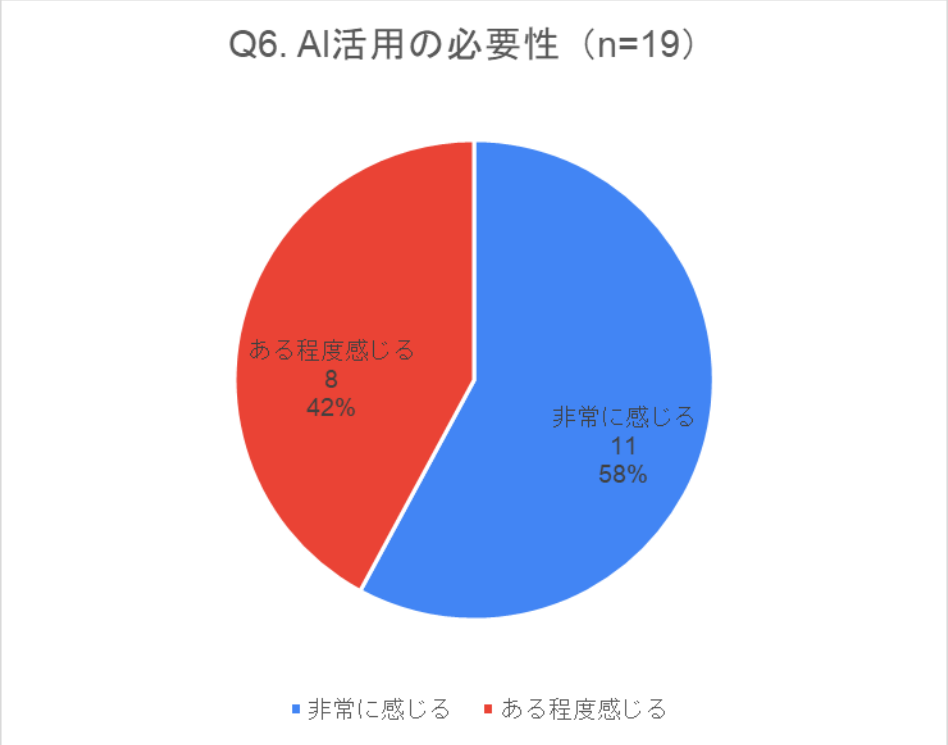


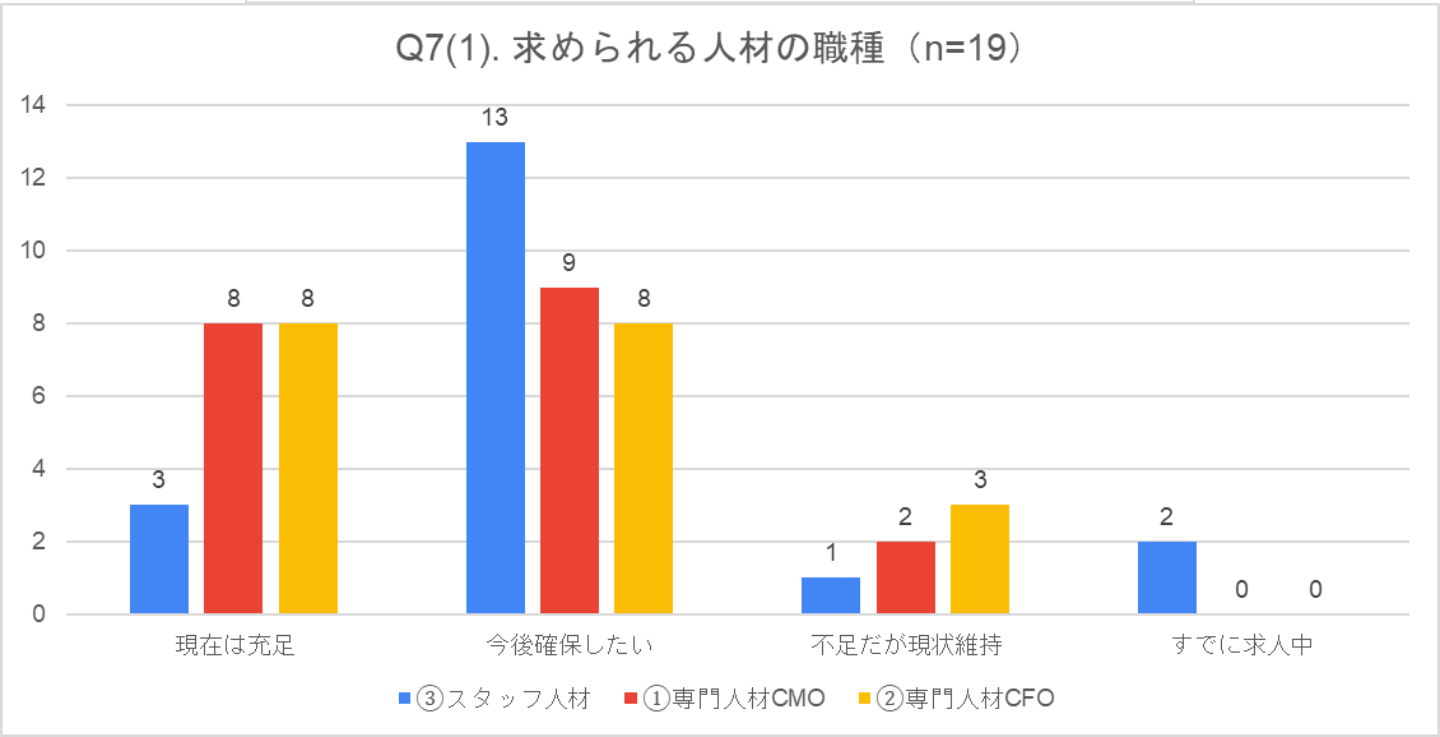


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細： DMO/観光振興団体

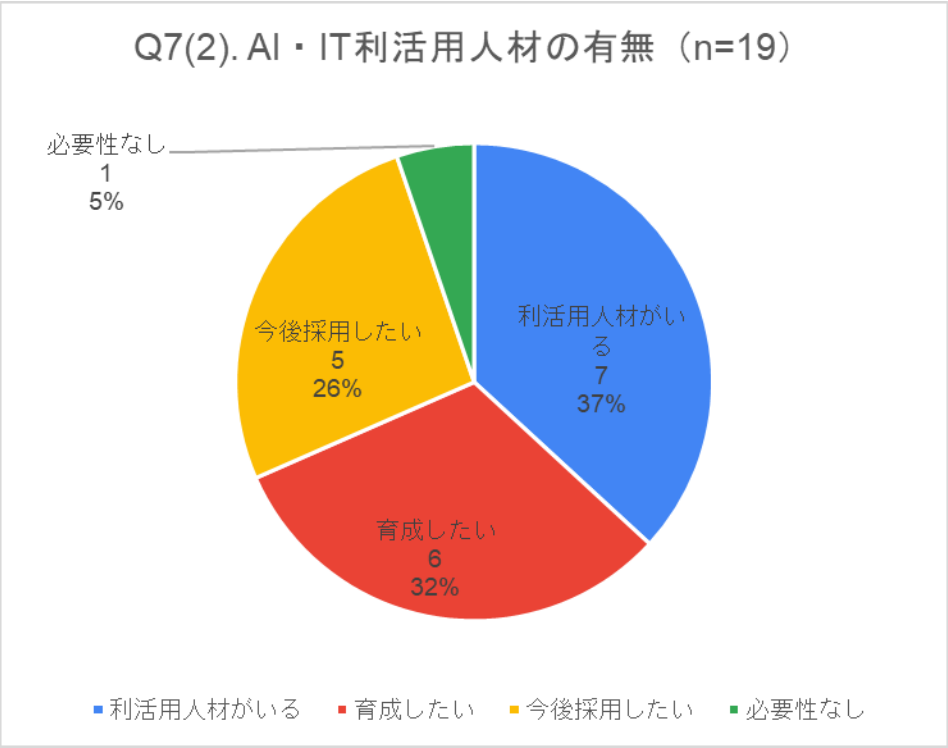


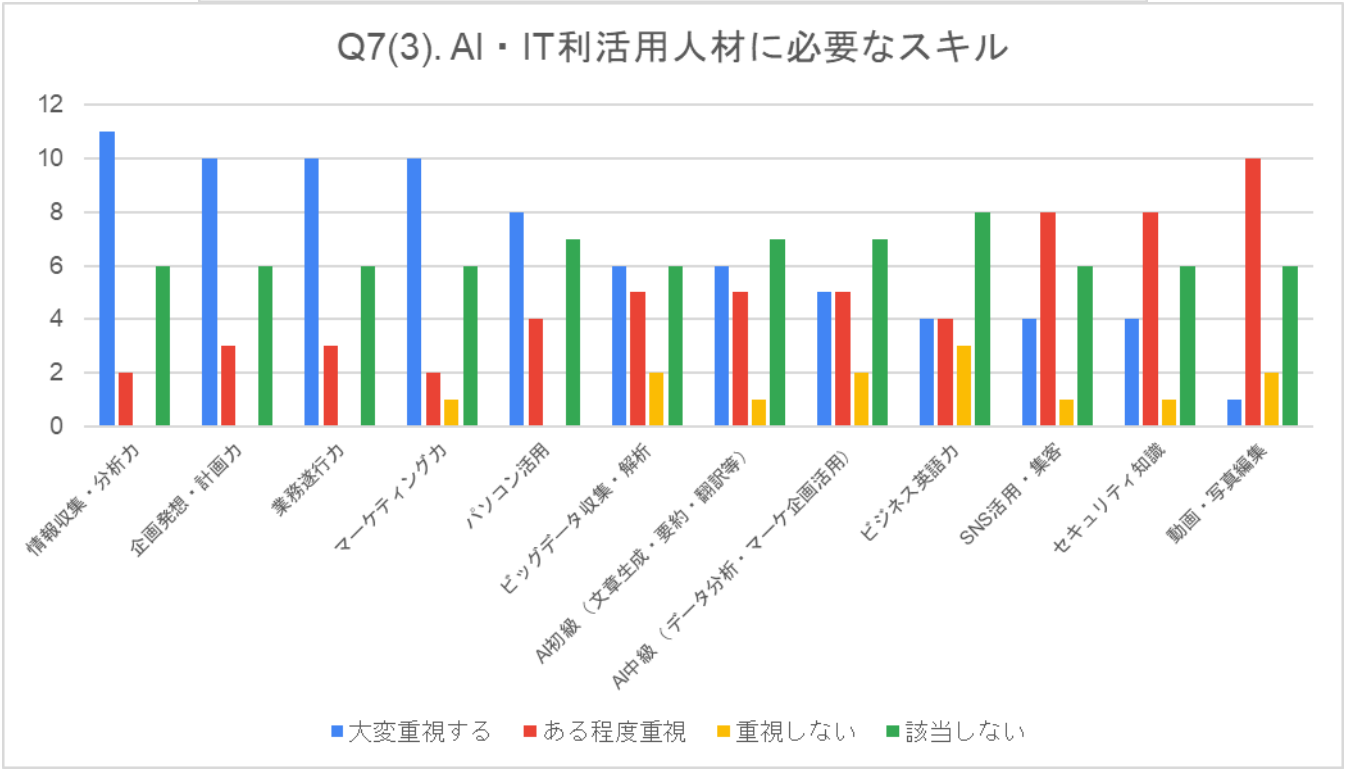


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細： DMO/観光振興団体

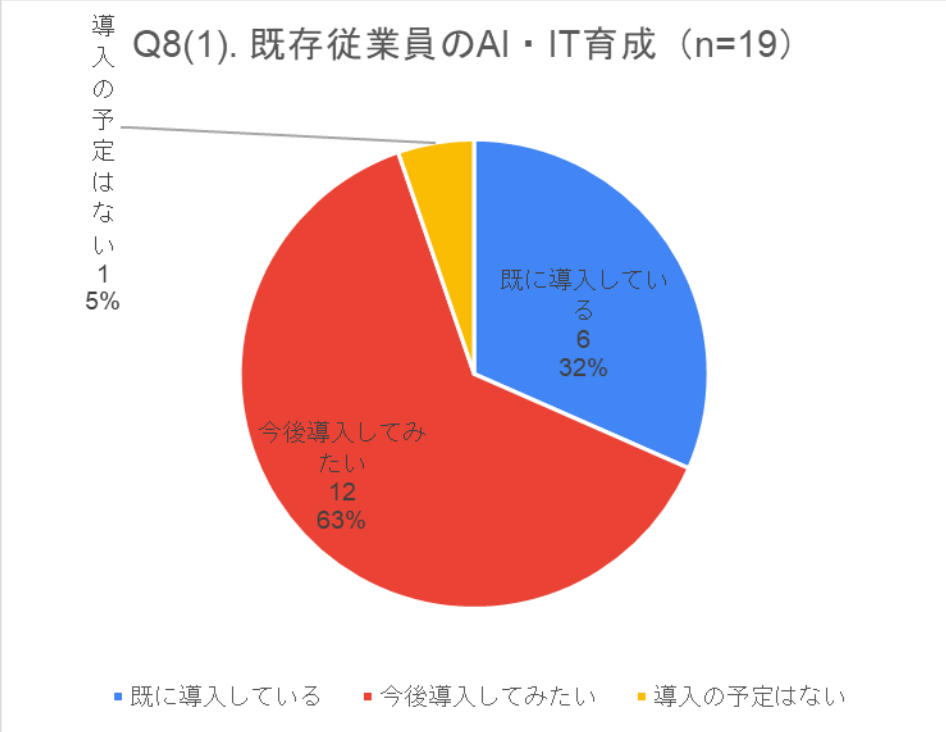


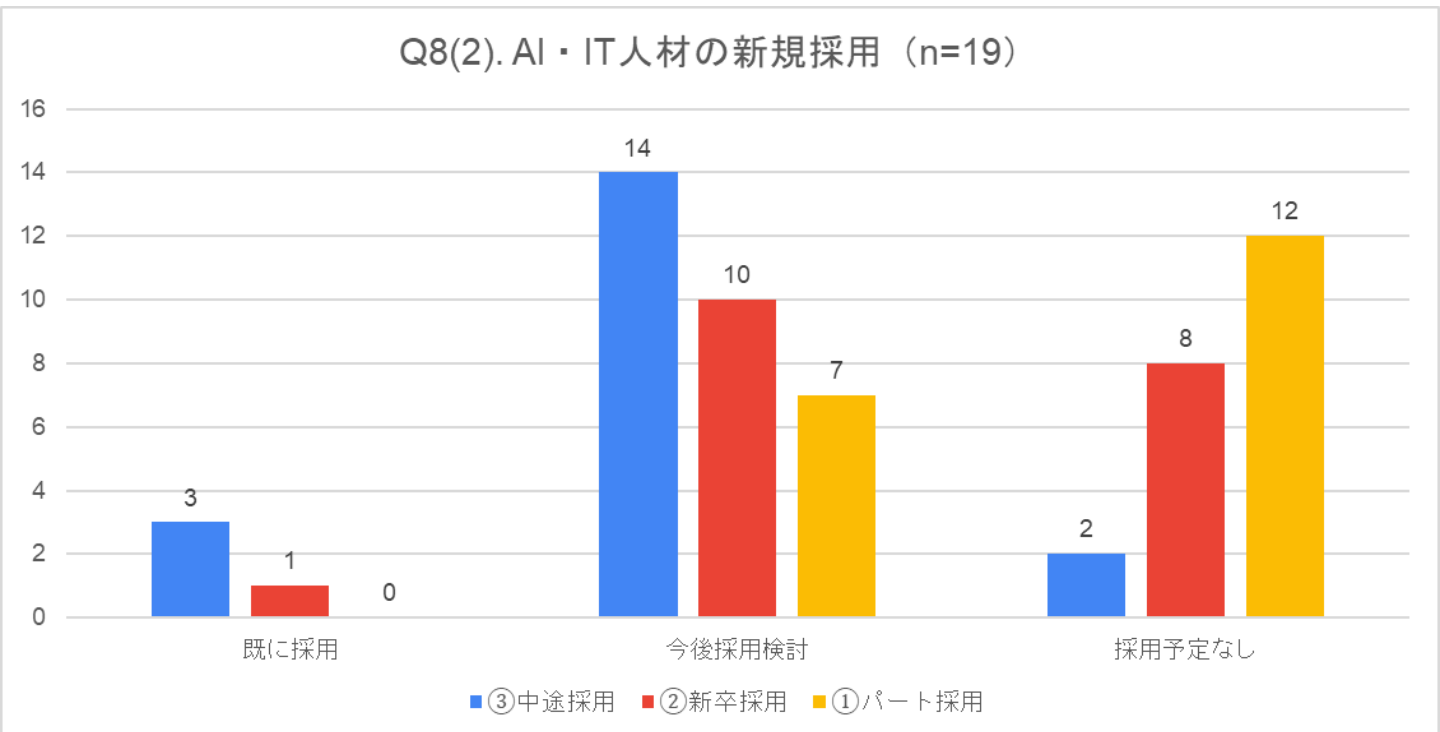


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細： DMO/観光振興団体

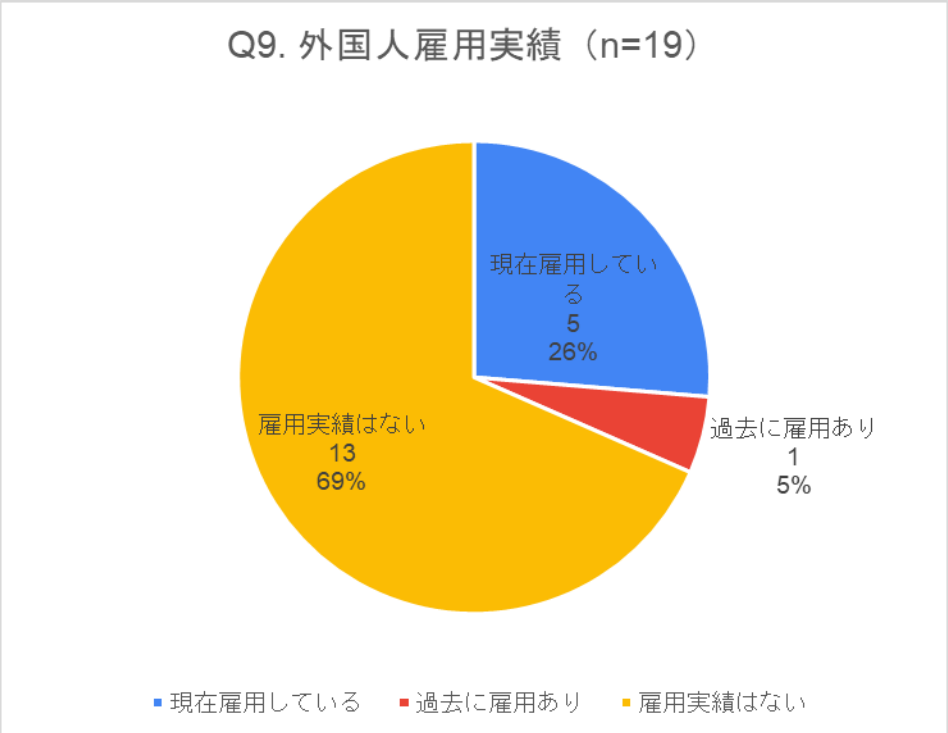


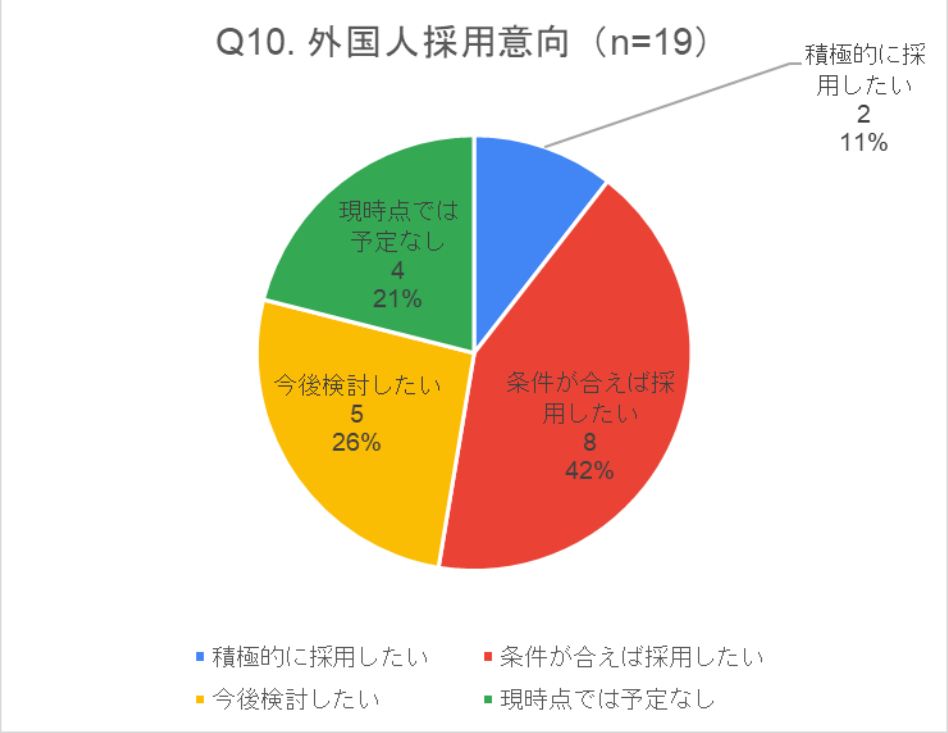


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細： DMO/観光振興団体

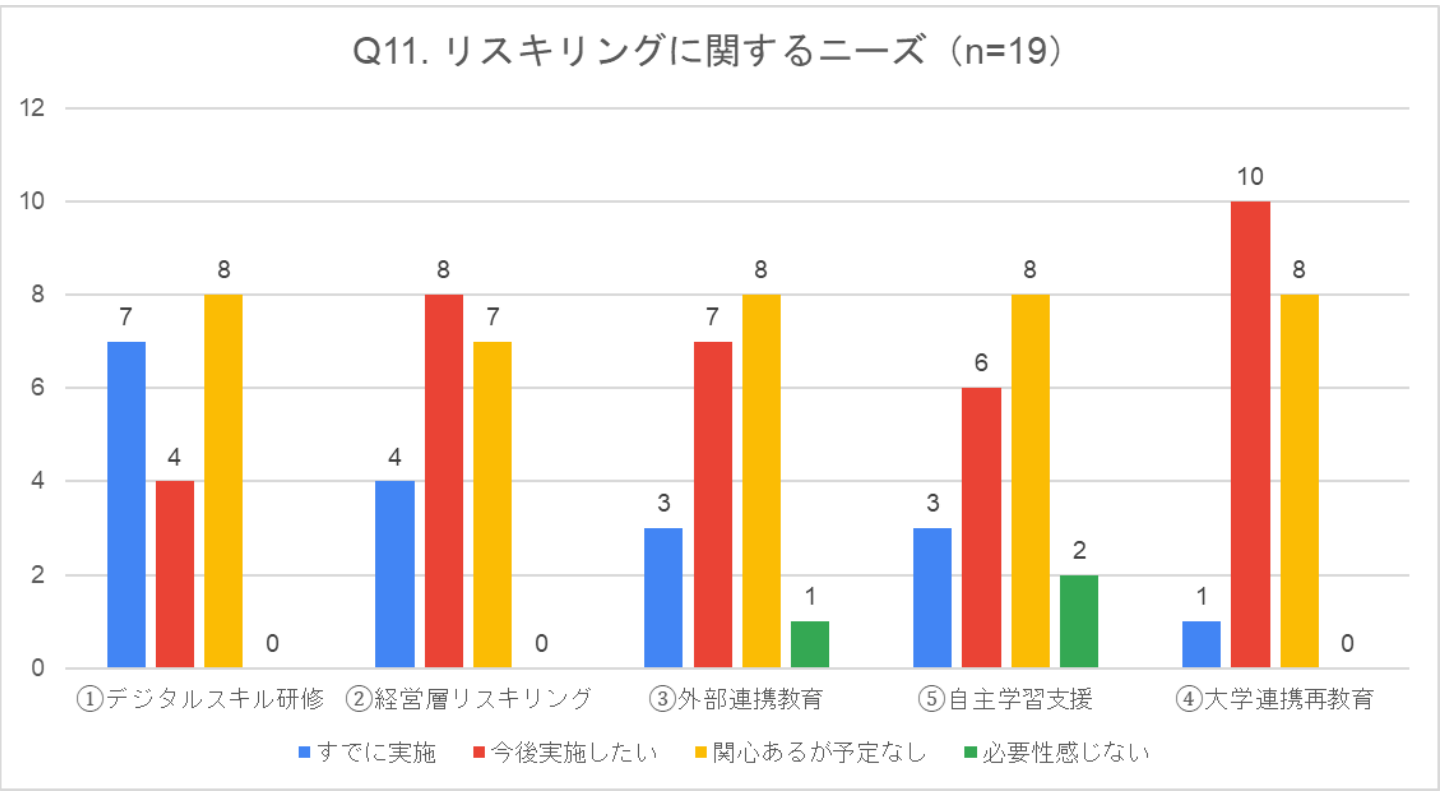




①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

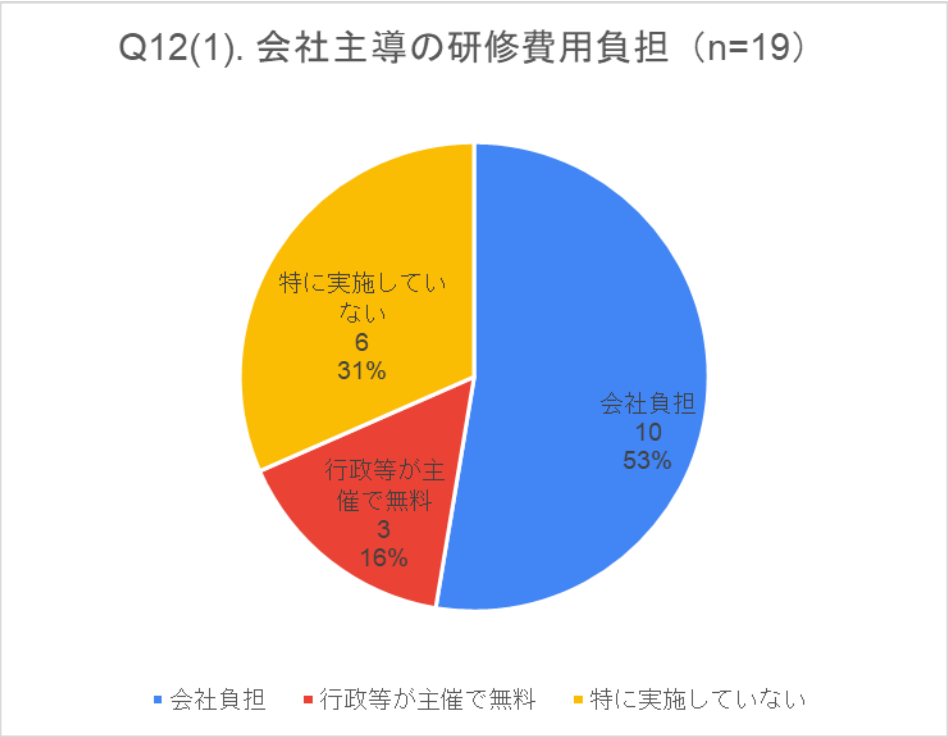
・結果詳細： DMO/観光振興団体

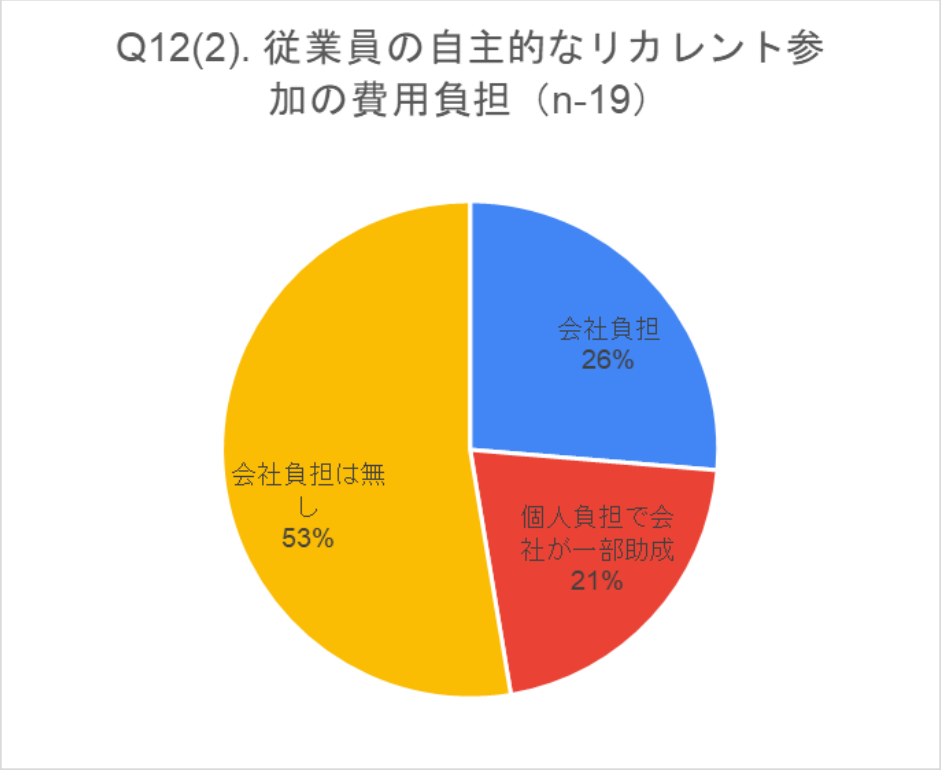


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細： DMO/観光振興団体





①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細： DMO/観光振興団体

クロス集計① 団体タイプ × Q6.AI活用の必要性

団体タイプ	非常に感じる	ある程度感じる	合計
①観光庁登録DMO	8	5	13
②観光庁候補法人DMO	1	0	1
③その他観光協会等	2	2	4
④旅館・温泉組合	1	0	1
合計	11	8	19

クロス集計② 団体タイプ × Q7(2).AI・IT利活用人材の有無・必要性

団体タイプ	人材がいる	育成したい	採用したい	必要性なし	合計
①観光庁登録DMO	6	5	2	0	13
②観光庁候補法人DMO	1	0	0	0	1
③その他観光協会等	0	0	3	1	4
④旅館・温泉組合	0	1	0	0	1
合計	7	6	5	1	19

クロス集計③ Q6.AI活用の必要性 × Q12(1).研修の費用負担

AI活用の必要性	会社負担	行政主催で無料	特に実施なし	合計
非常に感じる	6	3	2	11
ある程度感じる	4	0	4	8
合計	10	3	6	19

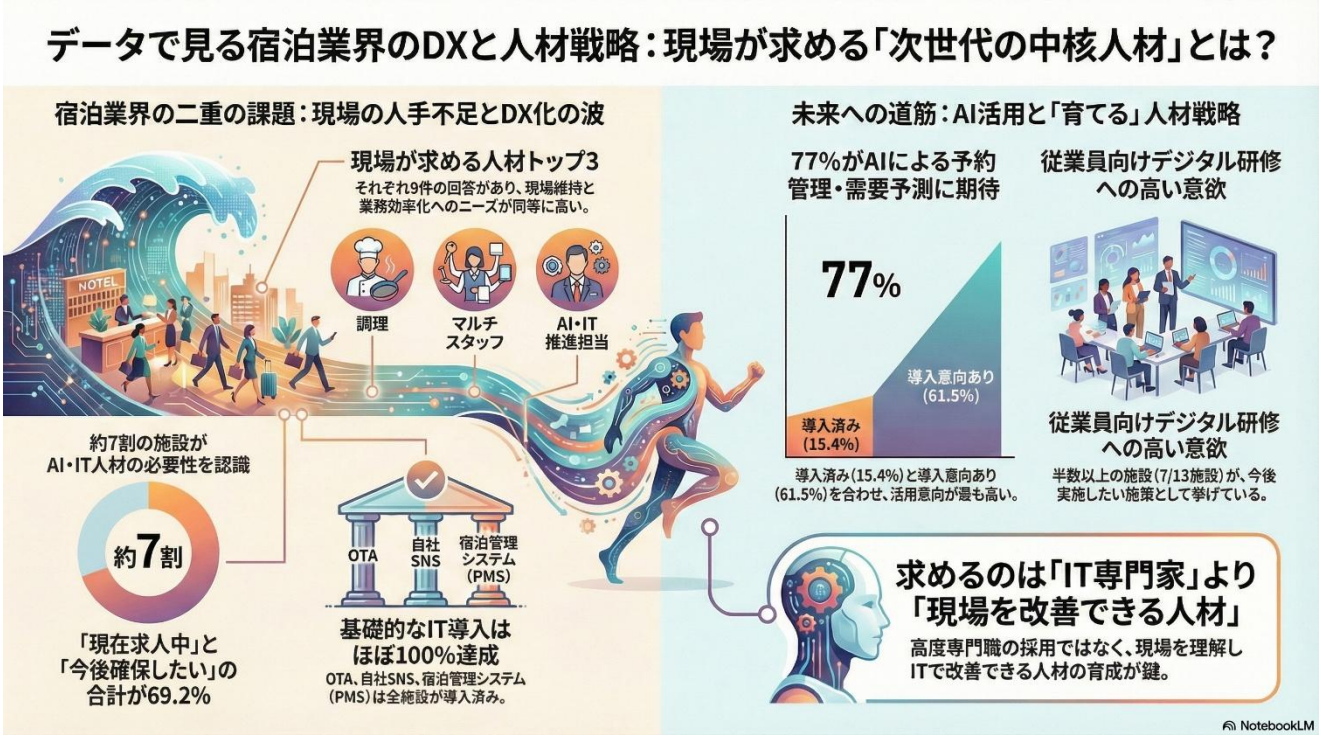
クロス集計④ Q7(2).AI人材の有無 × Q8(1).既存従業員の育成

AI人材の有無	既に導入	今後導入したい	予定なし	合計
人材がいる	3	4	0	7
育成したい	3	3	0	6
今後採用したい	0	5	0	5
必要性は感じていない	0	0	1	1
合計	6	12	1	19

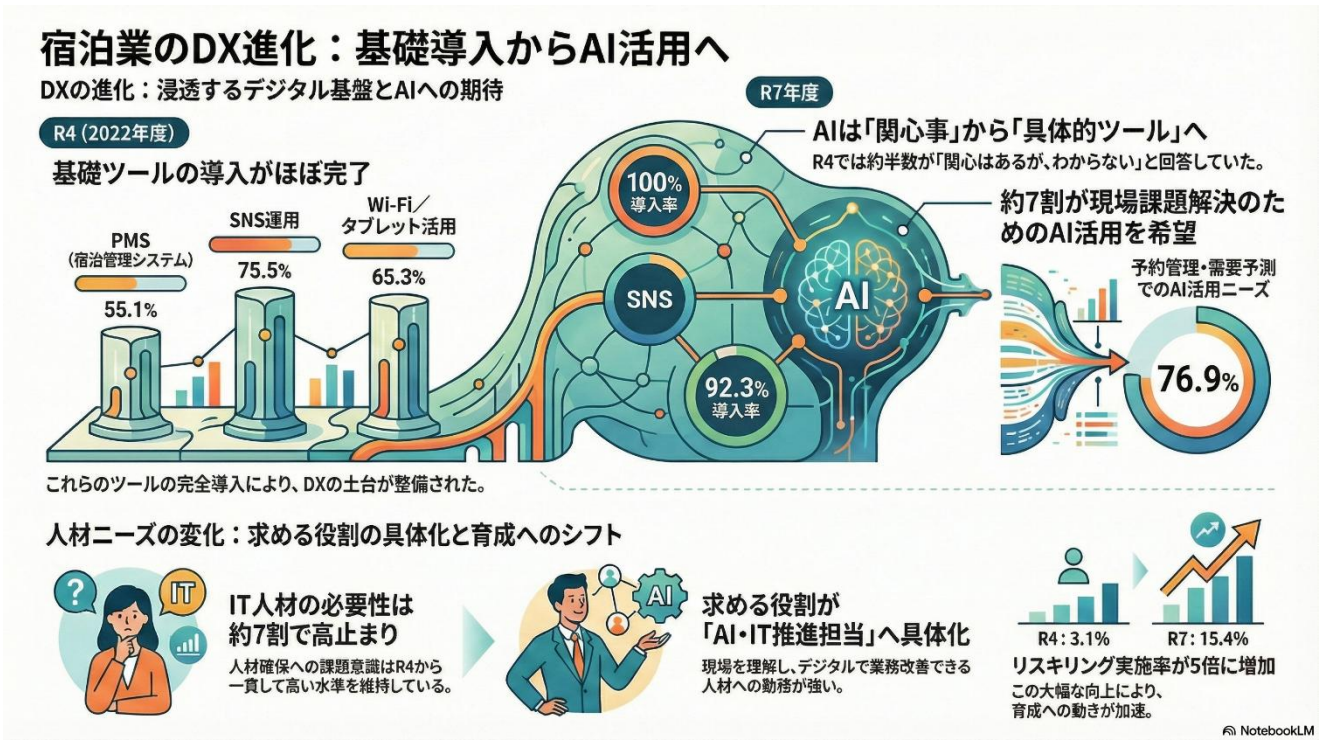
①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果まとめ：宿泊事業者では、慢性的な人手不足をAIやデジタル化で解決しようと動き始めている。現場目線で改善できる人が求められる。



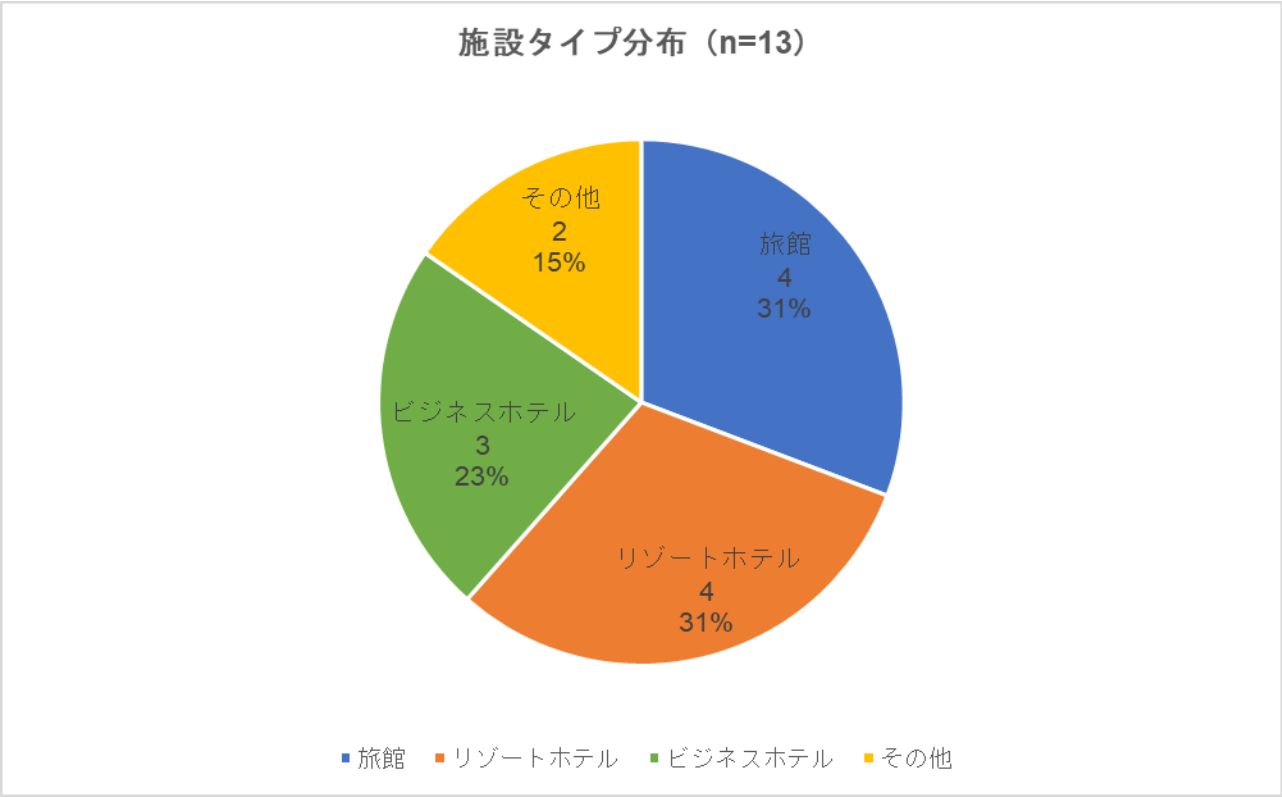
追加分析※R4年度調査との比較



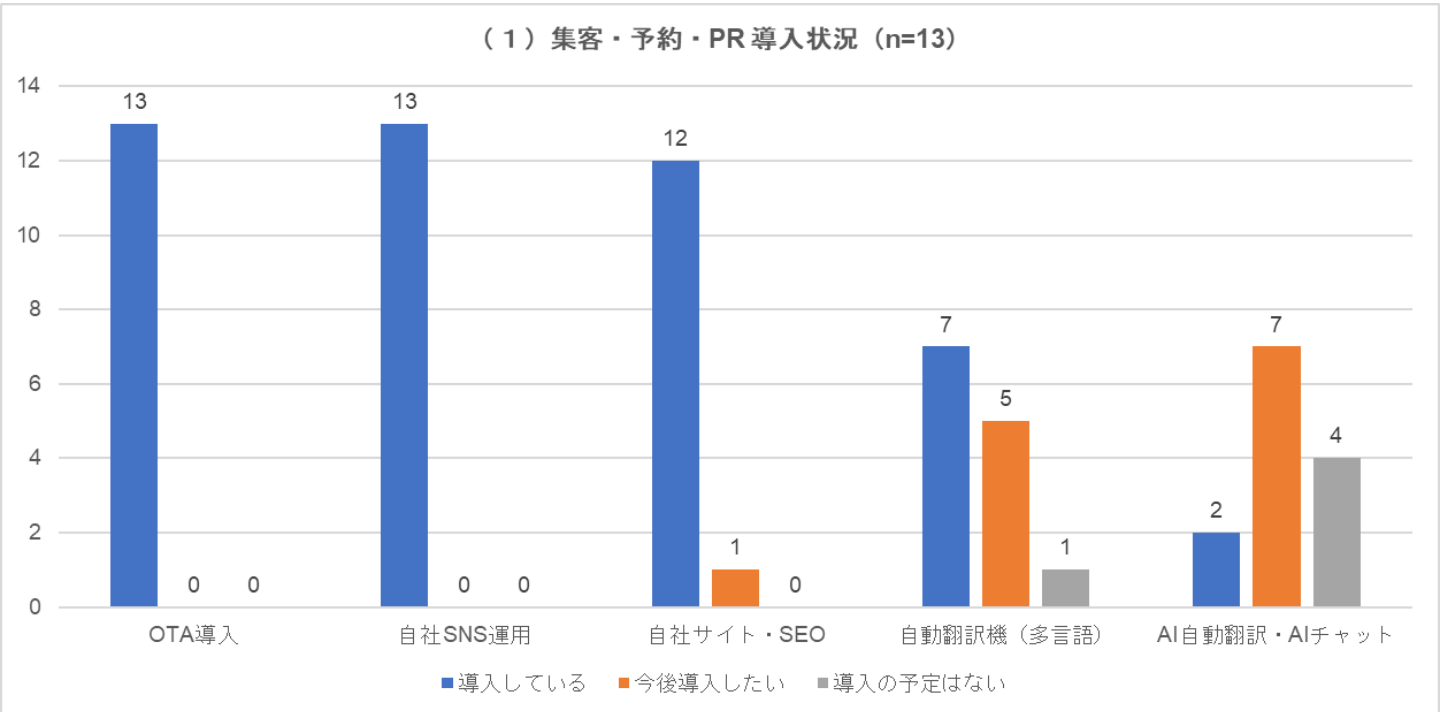
①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：宿泊事業者



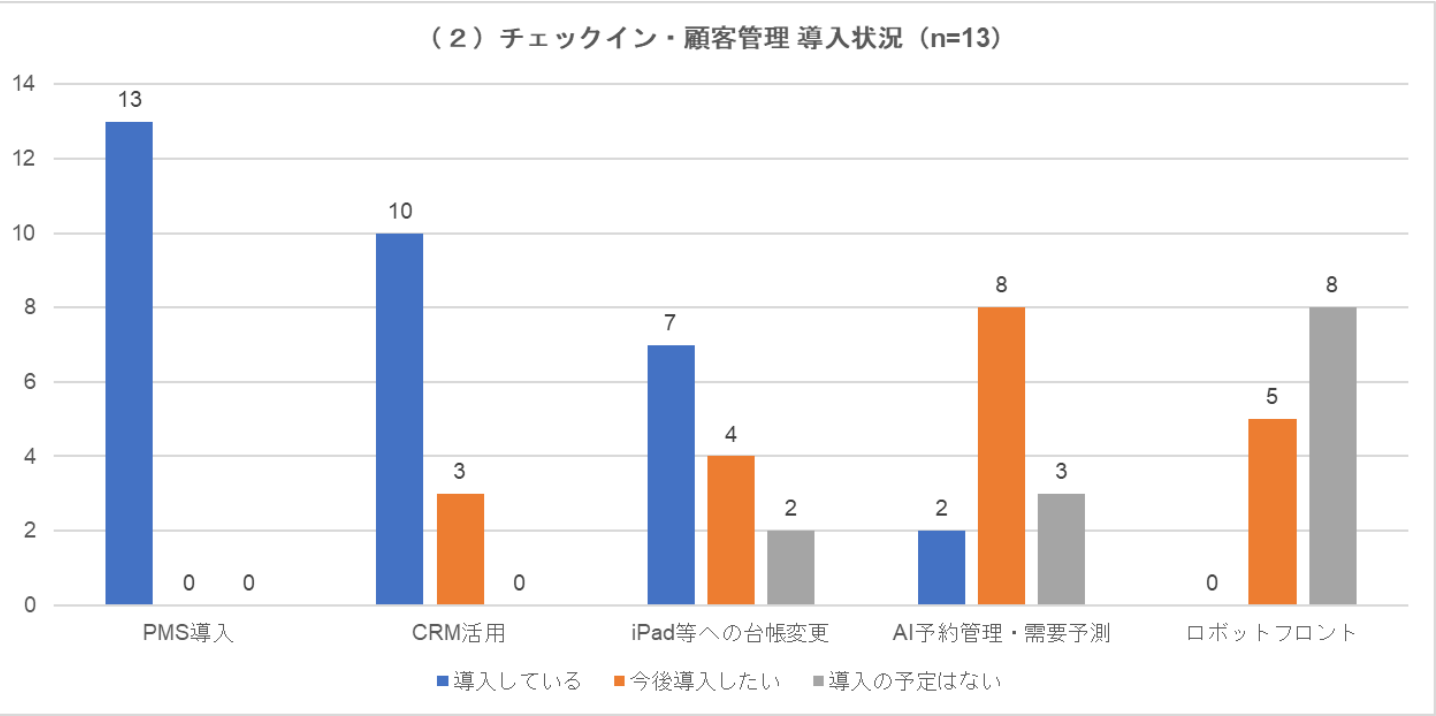
IT化（IT導入・IT活用）の現状と今後

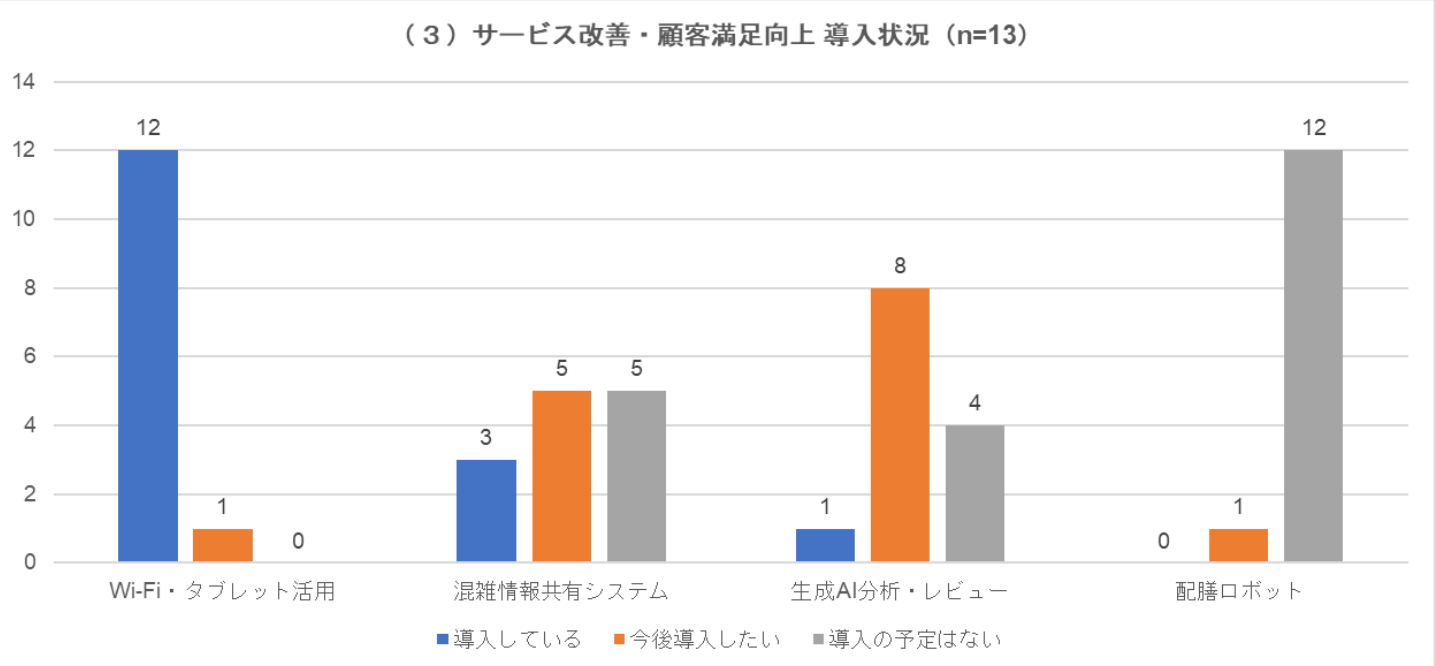


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：宿泊事業者

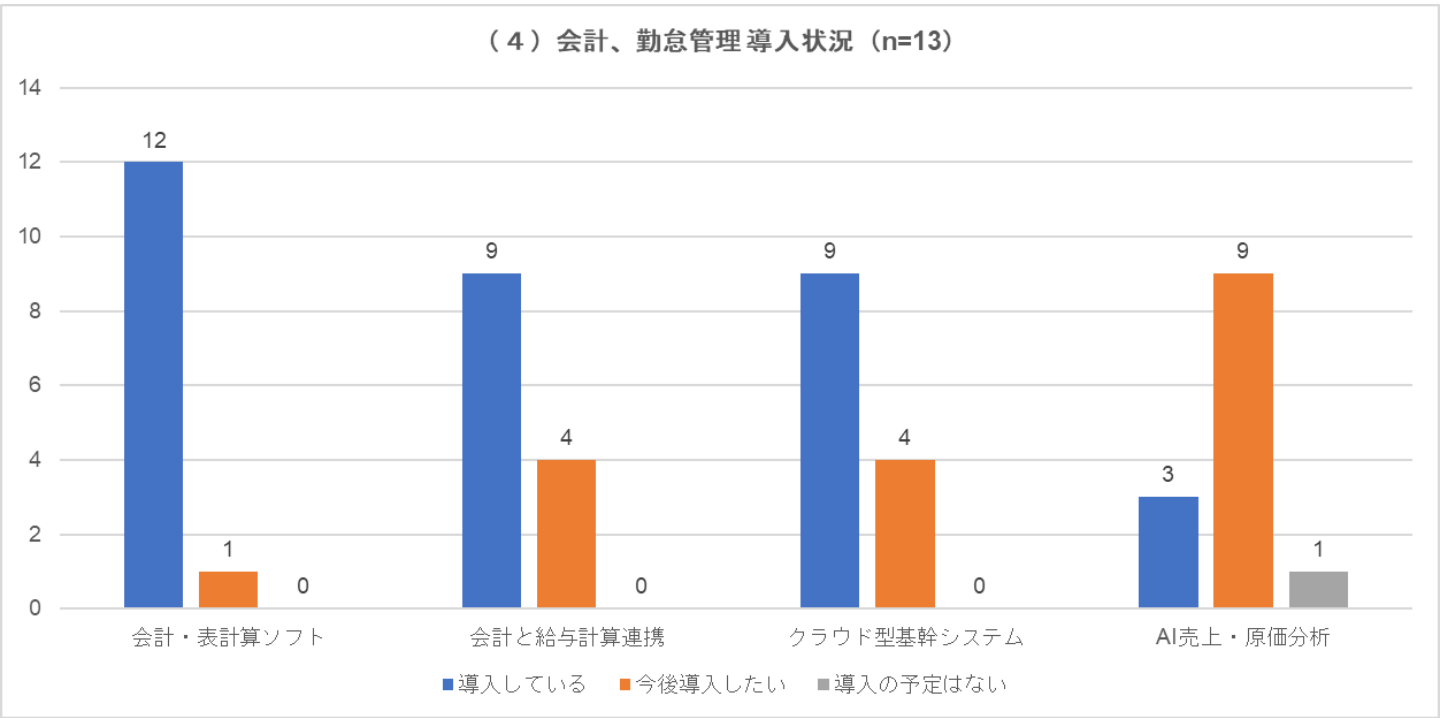


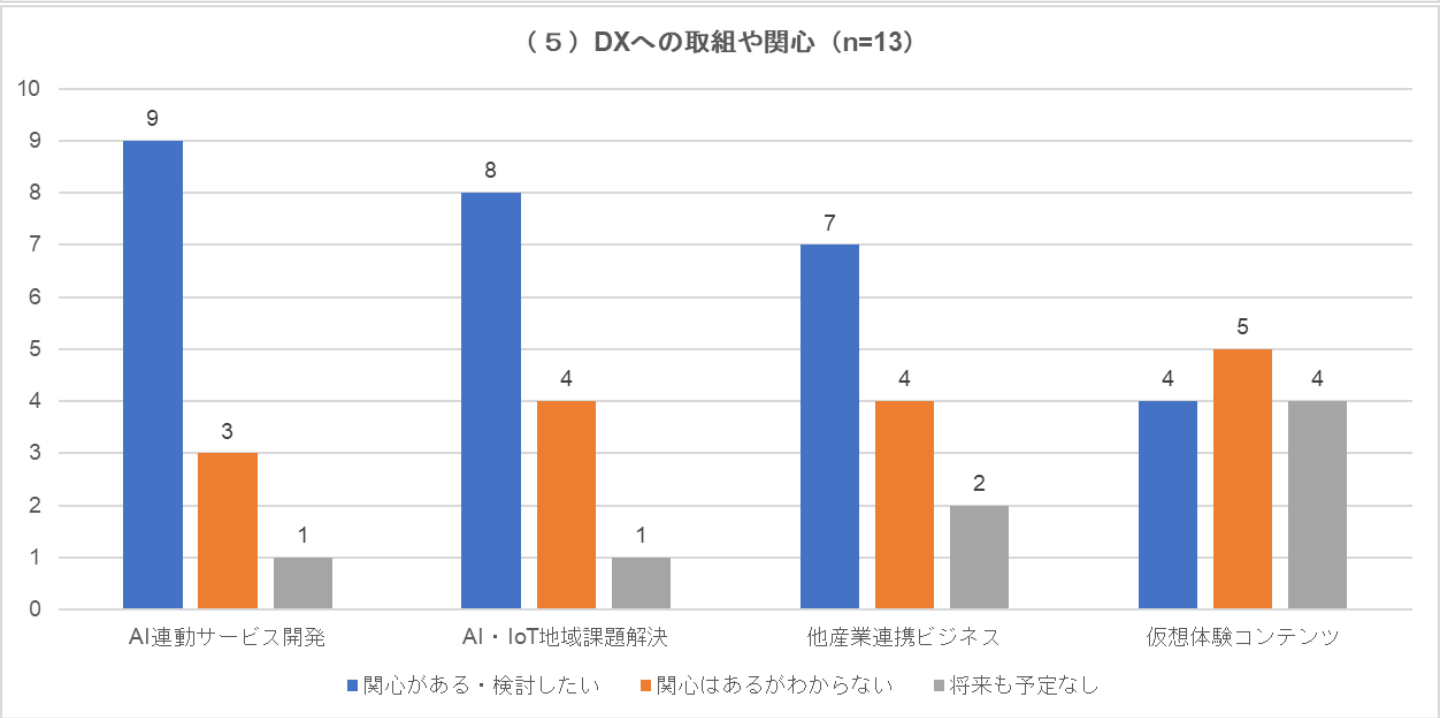


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：宿泊事業者

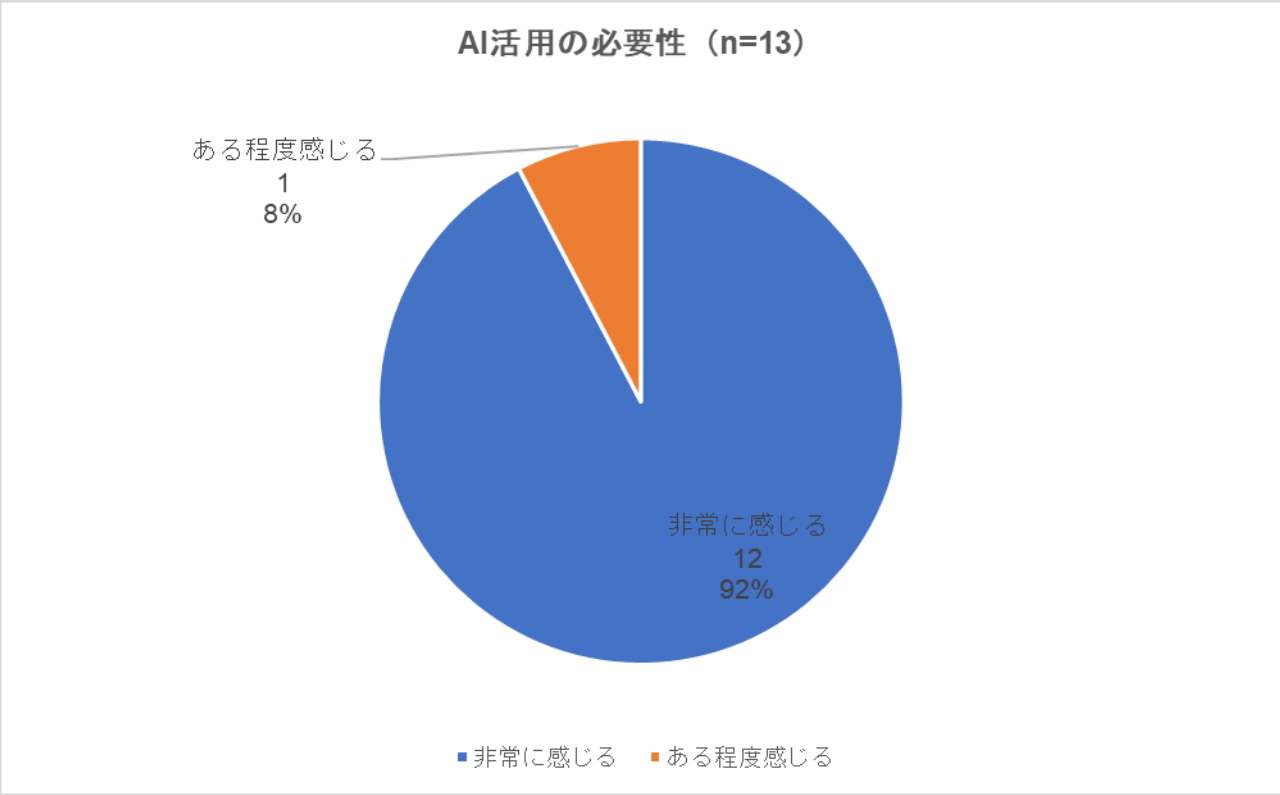


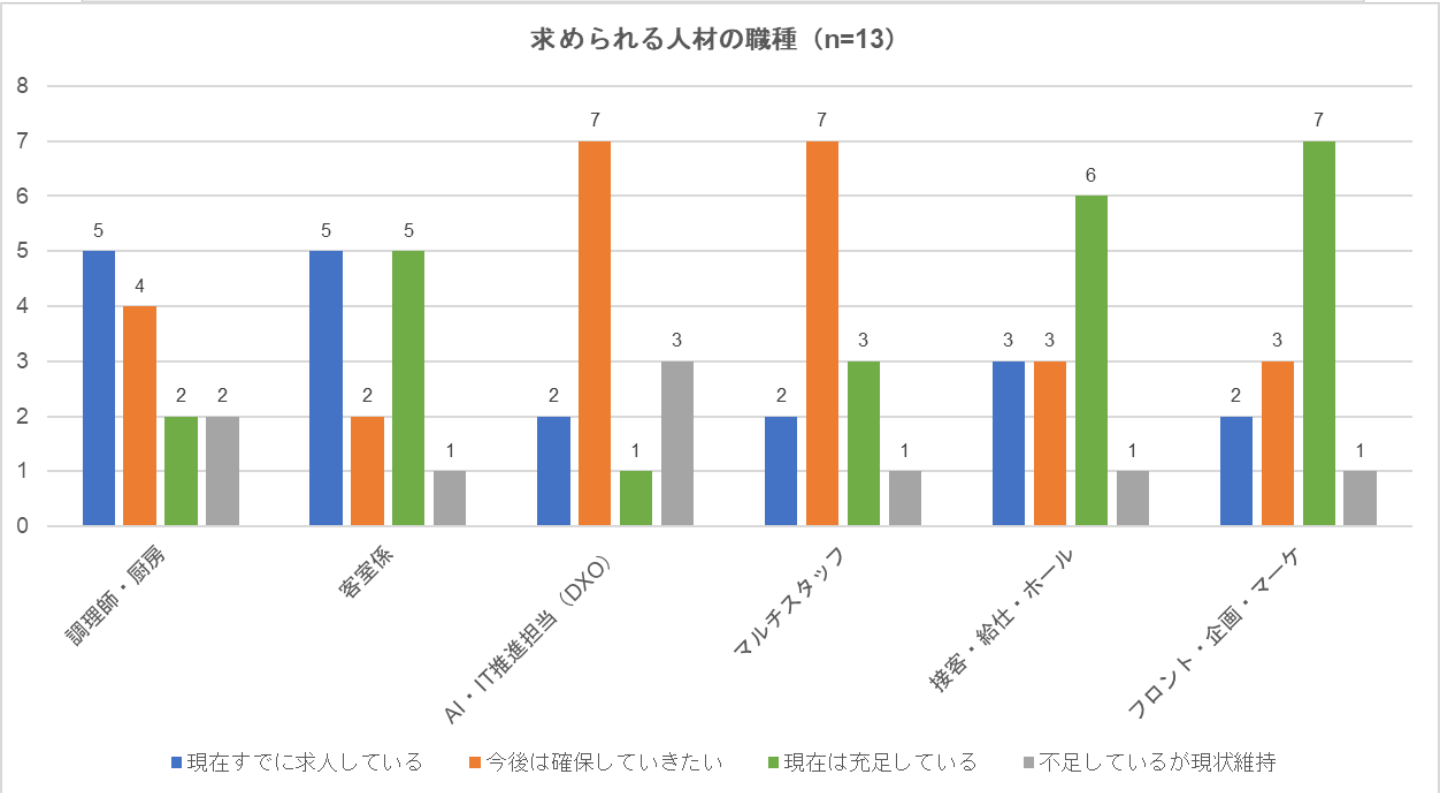


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：宿泊事業者

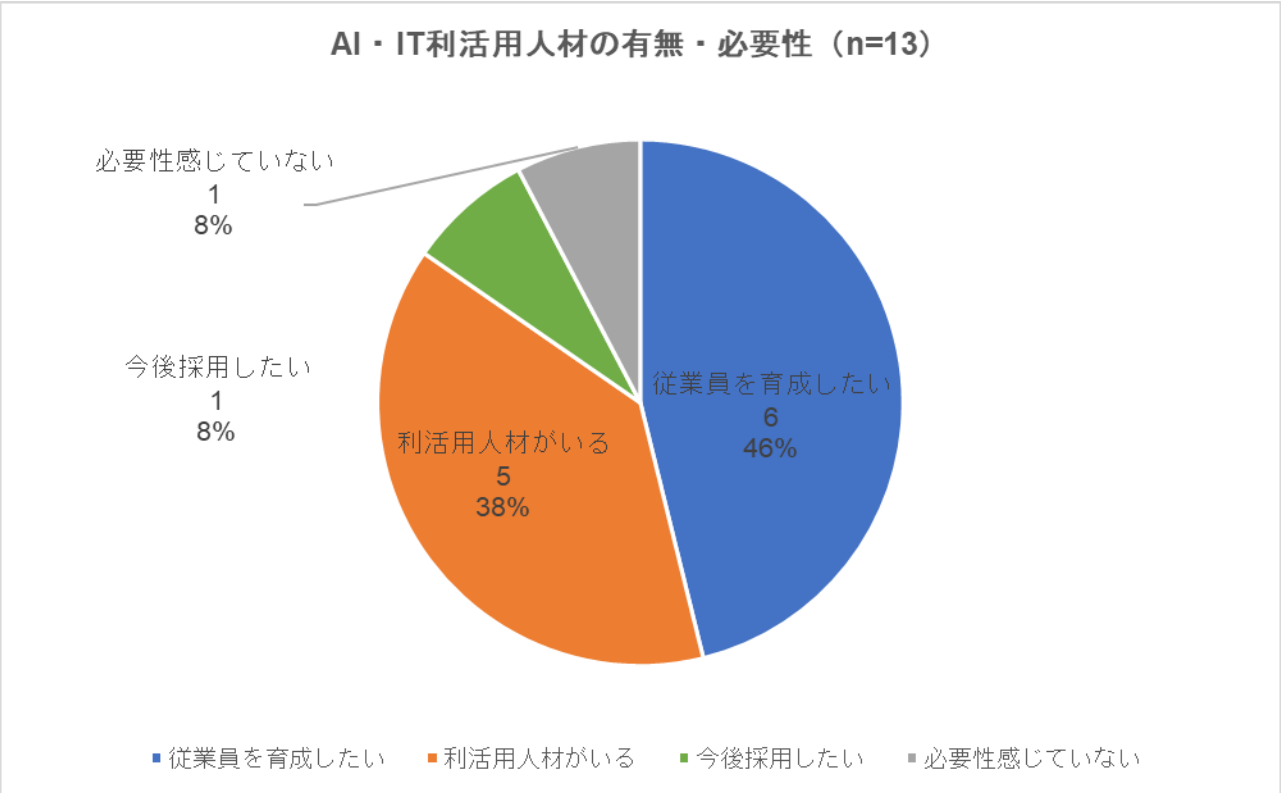


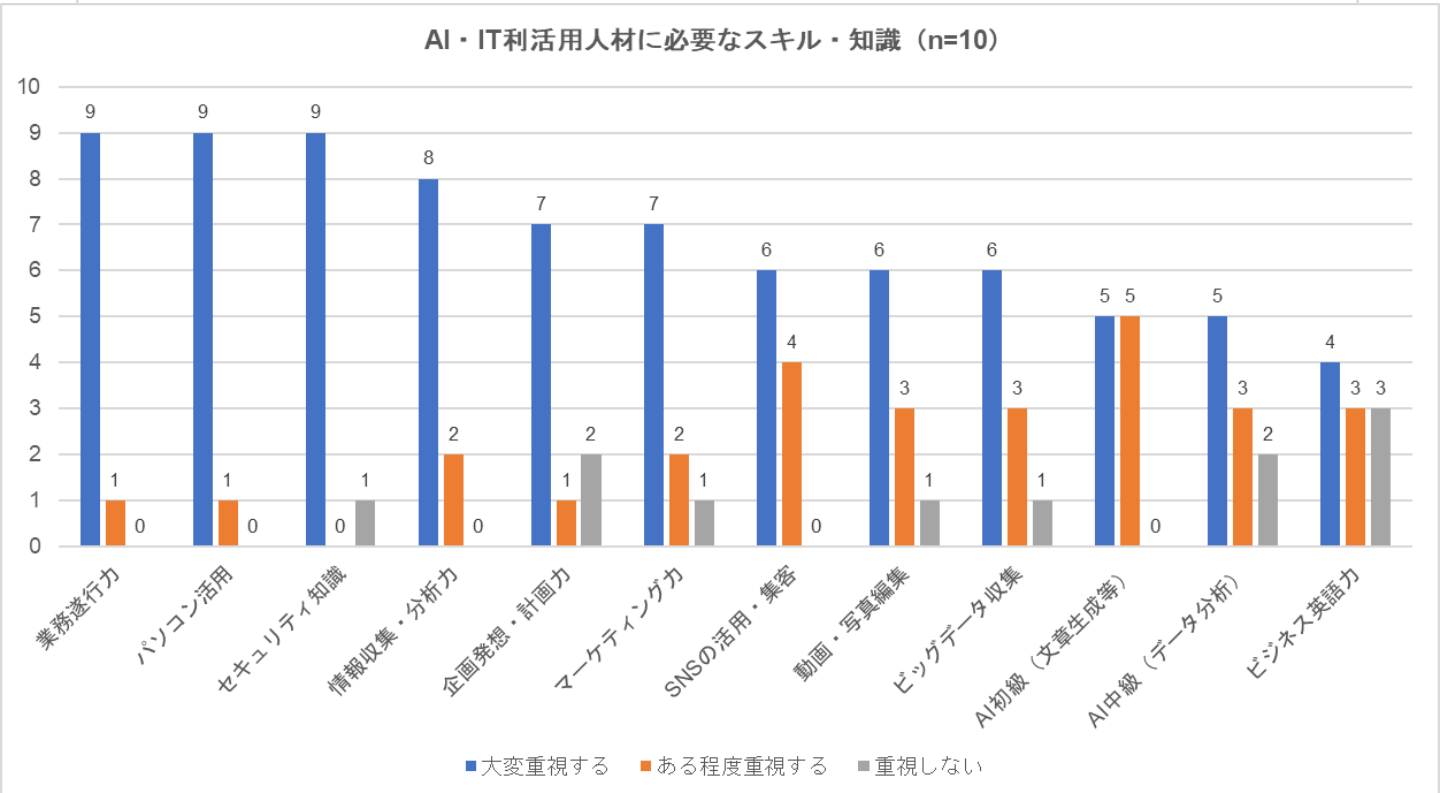


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：宿泊事業者



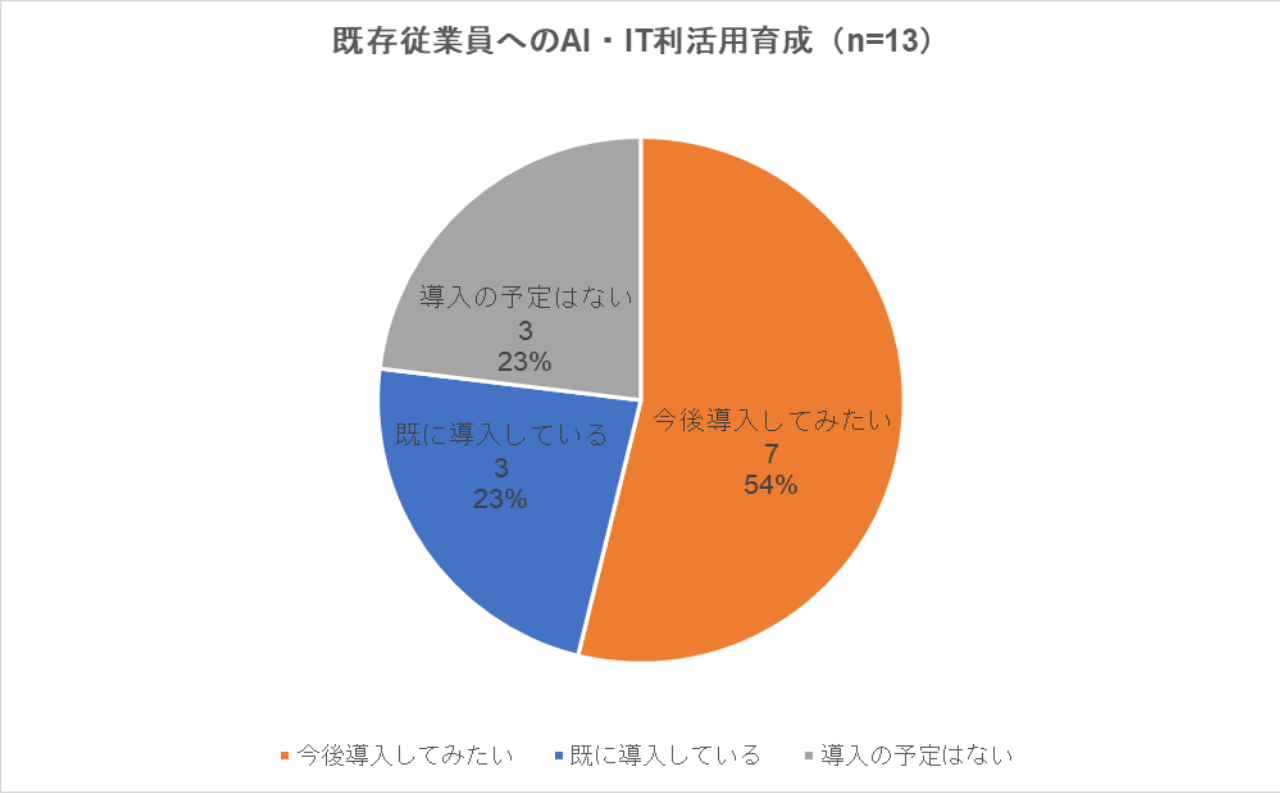


①企業・団体へのアンケート調査

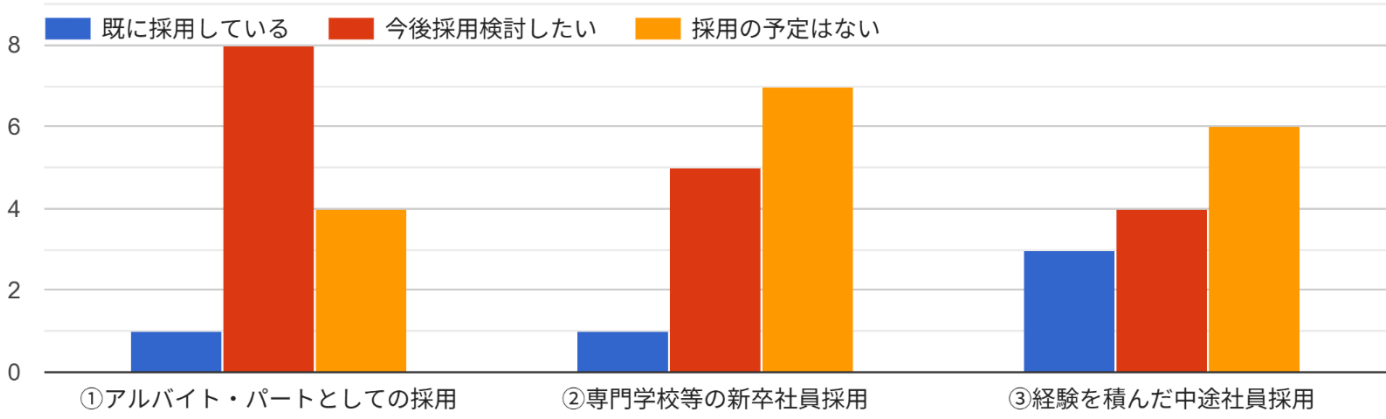
●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：宿泊事業者

AI・IT利活用人材育成について



（2）AI・IT利活用人材の新規採用について



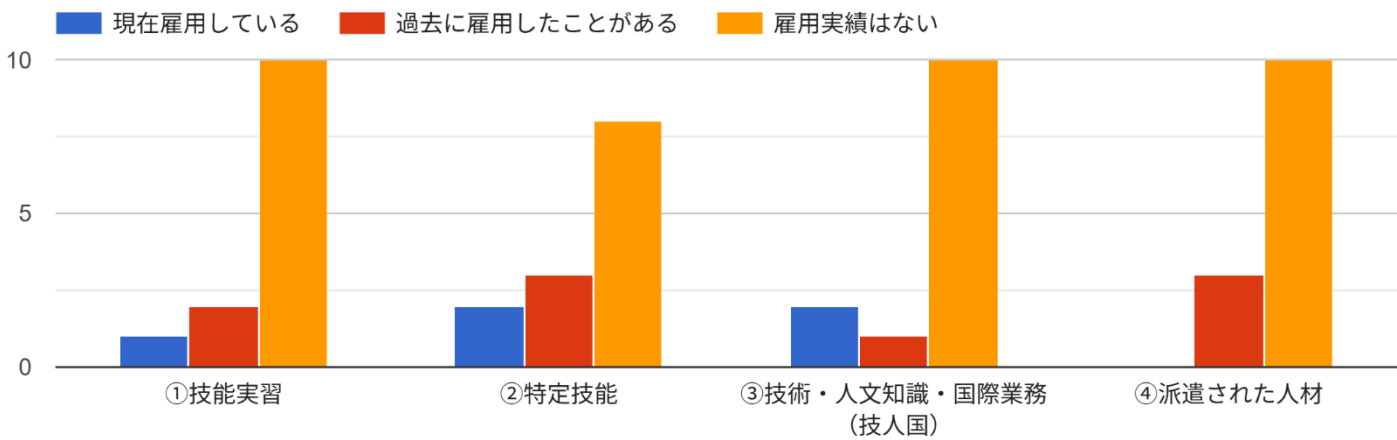
①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：宿泊事業者

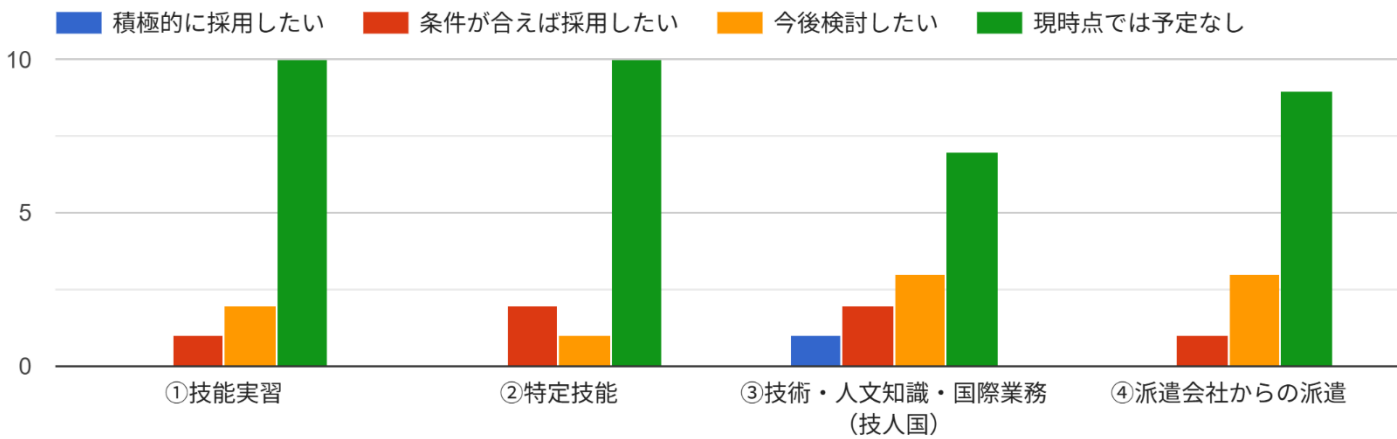
Q6

外国人の雇用実績　御宿泊施設の現在、外国人の…します。 各項目で該当するものをお答えください。



Q7

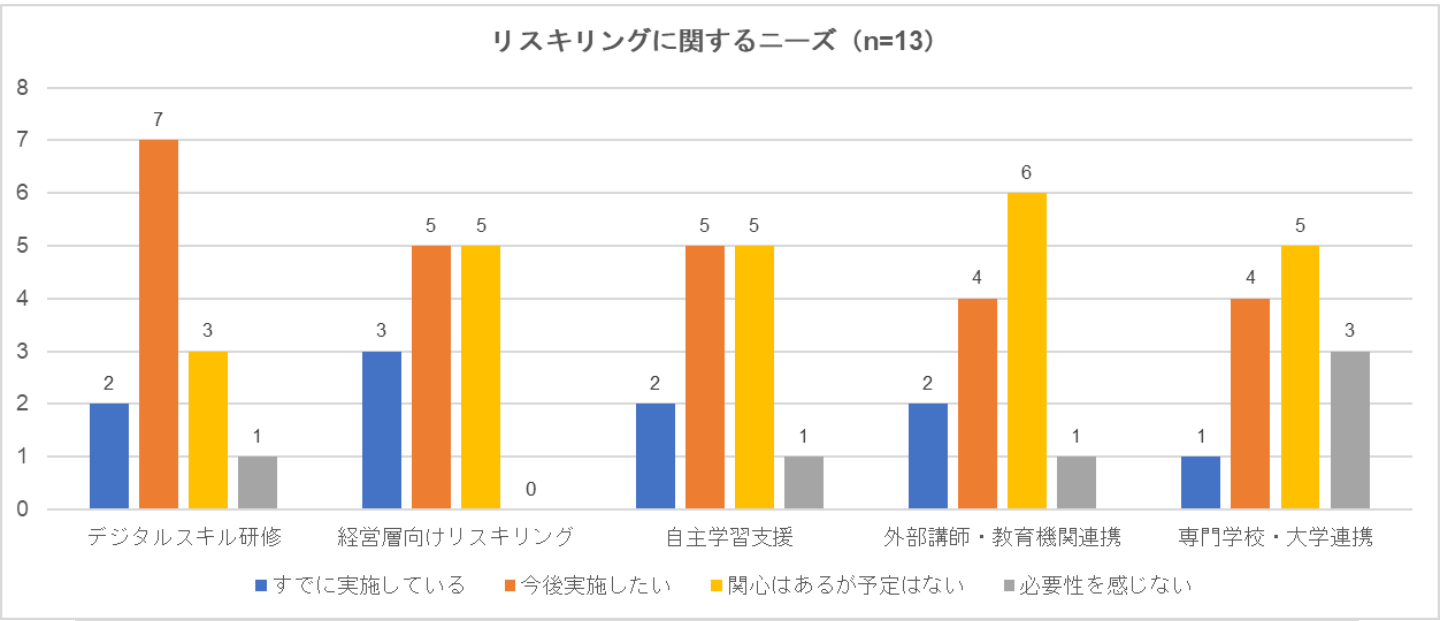
外国人の採用意向　御宿泊施設の現在、外国人の…します。 各項目で該当するものをお答えください。

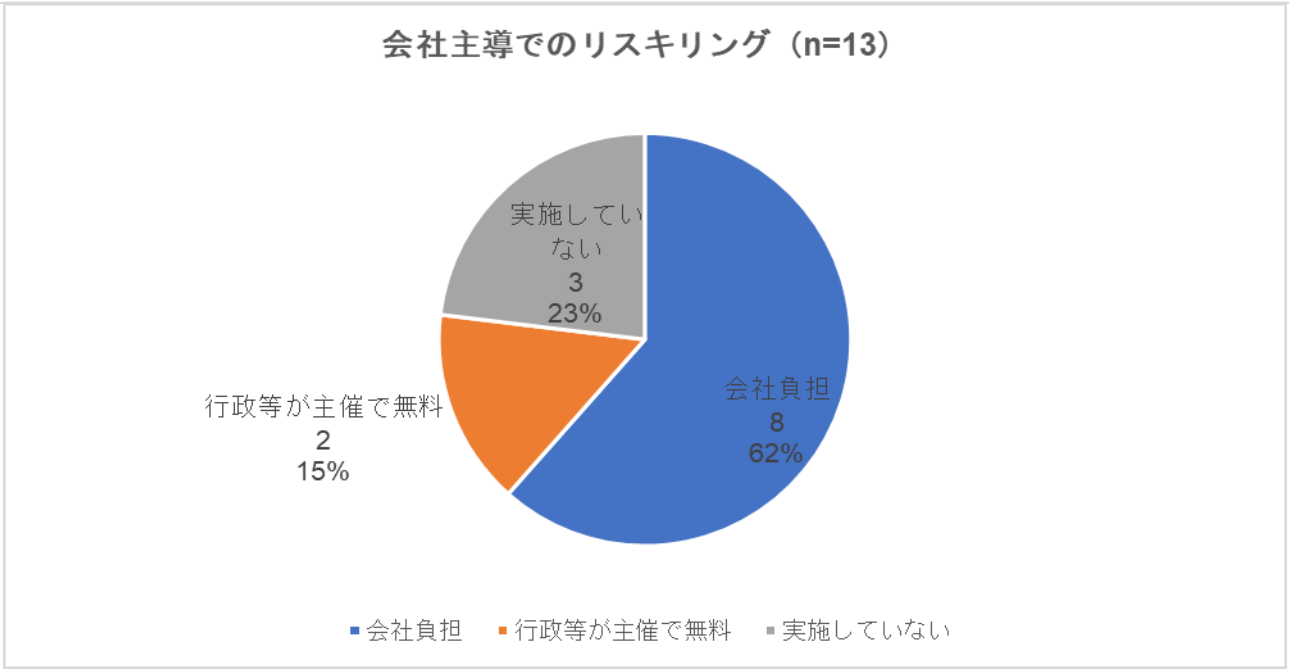


①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：宿泊事業者





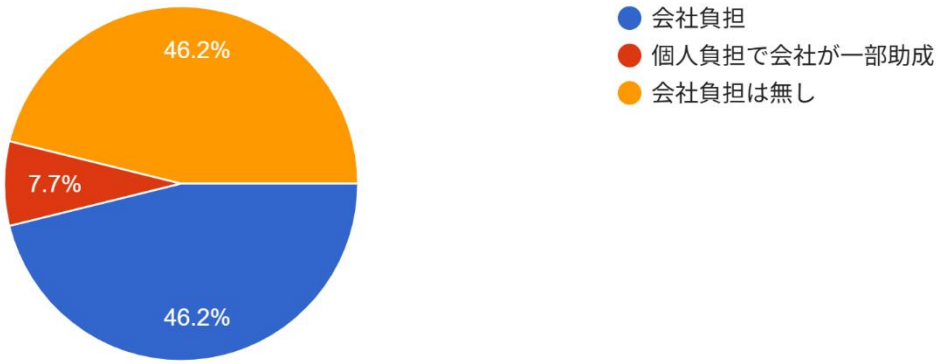
①企業・団体へのアンケート調査

●アンケート調査集計及び分析

・結果詳細：宿泊事業者

（2）従業員の自主的なリカレント・研修・セミナー参加などについて教えてください。

13 件の回答



①企業・団体へのアンケート調査

●企業ヒアリング5社のニーズ分析（追加調査）

イデアITカレッジ阿蘇にて行われた企業ヒアリング内容を本アンケート調査と並行してニーズ分析を行った。

以下の観点でヒアリングは実施

調査概要調査方法：対面・オンラインによるヒアリング
対象：観光・宿泊、製造、IT、小売等の地域企業　5社
対象人材：新卒（専門卒・大卒・高卒）、外国人留学生
主な論点：採用動向、求める人物像、日本語力・在留資格、即戦力度、教育連携の可能性

総括：企業は**「育てたいが余力がない」**というジレンマを抱えていることが明らかとなった。教育機関がその間を埋める存在として、実務に近い学習機会と現実的な就職導線を設計することが、地域人材循環の鍵となる。



①企業・団体へのアンケート調査

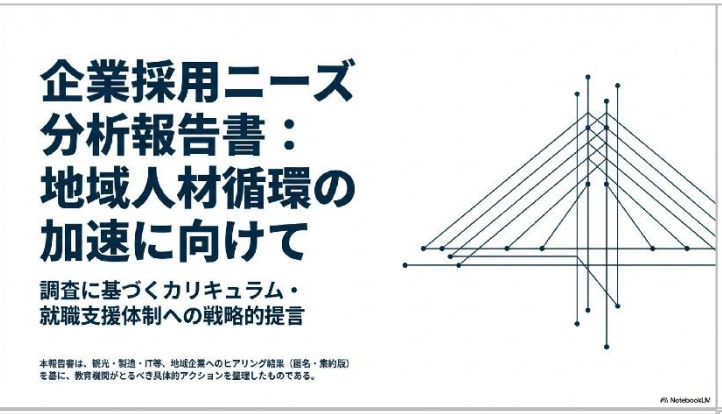
●企業ヒアリング5社のニーズ分析（追加調査）

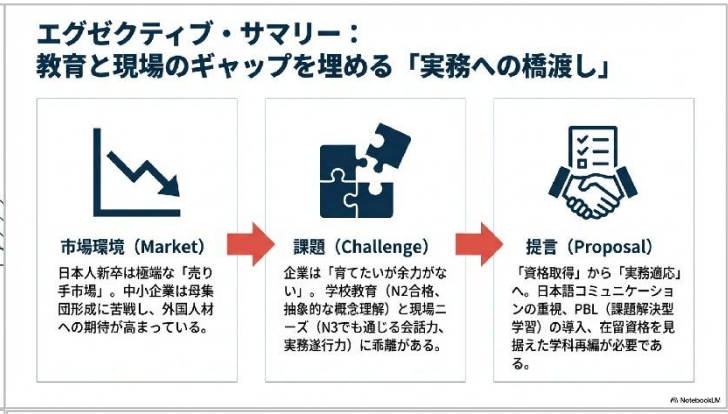
1. 採用市場全体の傾向
1-1. 新卒採用環境
日本人新卒は極端な売り手市場であり、中小企業では応募自体が集まらないケースが多い
給与・休日条件を引き上げなければ、高卒・専門卒の母集団形成が困難
大企業・都市部企業への流出が顕著
1-2. 外国人材採用の現実
外国人材採用は拡大傾向だが、「日本語能力」と「在留資格」が最大の制約要因
多くの企業がN2を理想としつつ、現実的にはN3で妥協している
技人国は業務範囲制限が厳しく、特定技能の方が現場適応力は高い
2. 業種別に見る採用ニーズ
2-1. 観光・宿泊業
人手不足は慢性的で、特に現場運営・接客人材が不足
IT・マーケティング人材への期待はあるが、即戦力前提の中途採用が中心
新卒にはマルチタスク適応力と基礎的接遇力が求められる
2-2. 製造業・技能職
技能職は外国人材（特定技能）ニーズが高い
専門知識よりも、素直さ・自主性・安全意識が重視される
事務・広報・マーケティング系の間接部門人材が不足
2-3. IT・デジタル関連職
新卒より即戦力中途採用が中心
新卒に求める場合でも、基礎スキルと学習意欲が必須
外国人材はハードルが高く、試験通過率も低い
3. 企業が共通して求める人物像
日本語での実務コミュニケーション力（電話・メール・対面）
主体性・協調性・素直さ
「若くて元気」よりも「現場で育つ姿勢」
自分の言葉で考え、話せる力
4. 教育とのギャップと課題
企業は「理想像」より「採れる現実」から話を始めている
マーケティングやITの概念理解が抽象的なまま終わっている学生が多い
在留資格と学科・科目の整合性に対する理解不足
5. 教育連携における可能性
授業内課題提供、PBL型授業への参画ニーズは高い
インターンシップは「労働力化」への懸念が強く、設計が重要
課題提供型・短期実証型の連携が現実的
6. カリキュラム設計への示唆
日本語×実務コミュニケーションの体系的強化
在留資格を前提とした職種・科目設計
マーケティング・ITの“使える形”での可視化
現場理解を深めるフィールドワーク重視

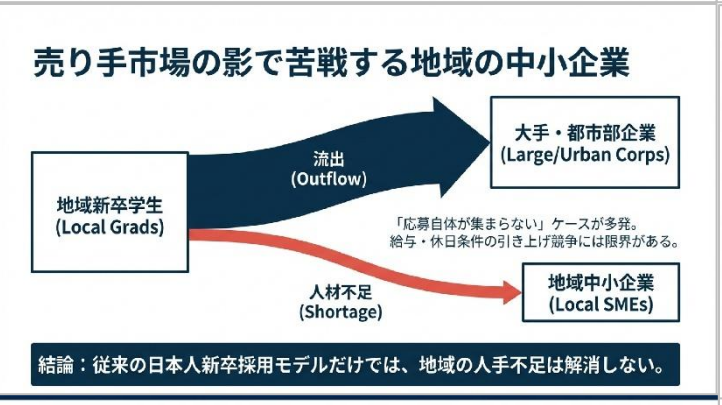
①企業・団体へのアンケート調査

●企業ヒアリング5社のニーズ分析（追加調査）

▼分析結果報告書



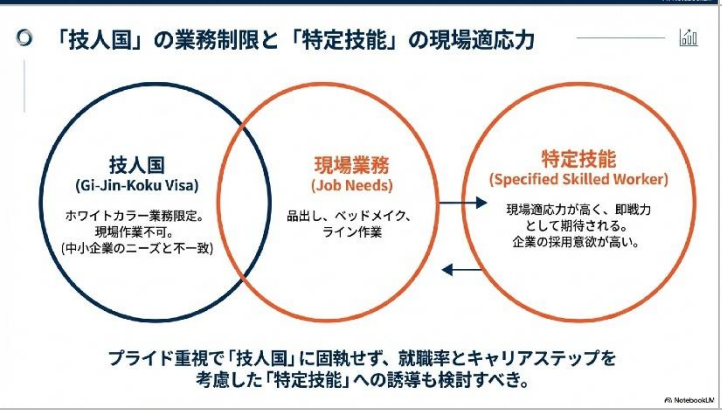


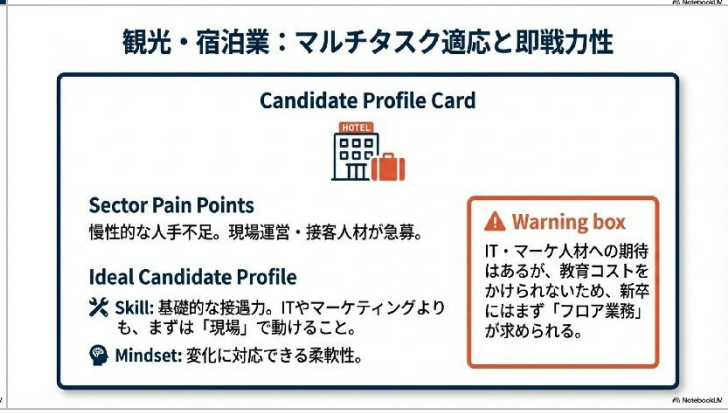












①企業・団体へのアンケート調査

●企業ヒアリング5社のニーズ分析（追加調査）

▼分析結果報告書

